



MSD41-26013/14 フロントスポイラー Ver.1

取付・取扱要領書

この度はMODELLISTAフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません。取付けは必ず車両登録後に行なってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MSD41-26013-A2	プラチナホワイトパールマイカ(089)	ハイエース	-
MSD41-26013-C0	ブラックマイカ(209)		
MSD41-26013-C1	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン(220)		
MSD41-26014-NP	未塗装品		

- ・最新の適合情報は MODELLISTA 公式サイトをご覧ください。<https://www.modellista.co.jp/>
- ・本商品とシグネチャーイルミブレードを同時装着する場合は、シグネチャーイルミブレードを先に取付けてください。

⚠ **注意** : エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり、部品を取付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエータキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。
ラジエータキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

■ 構成部品

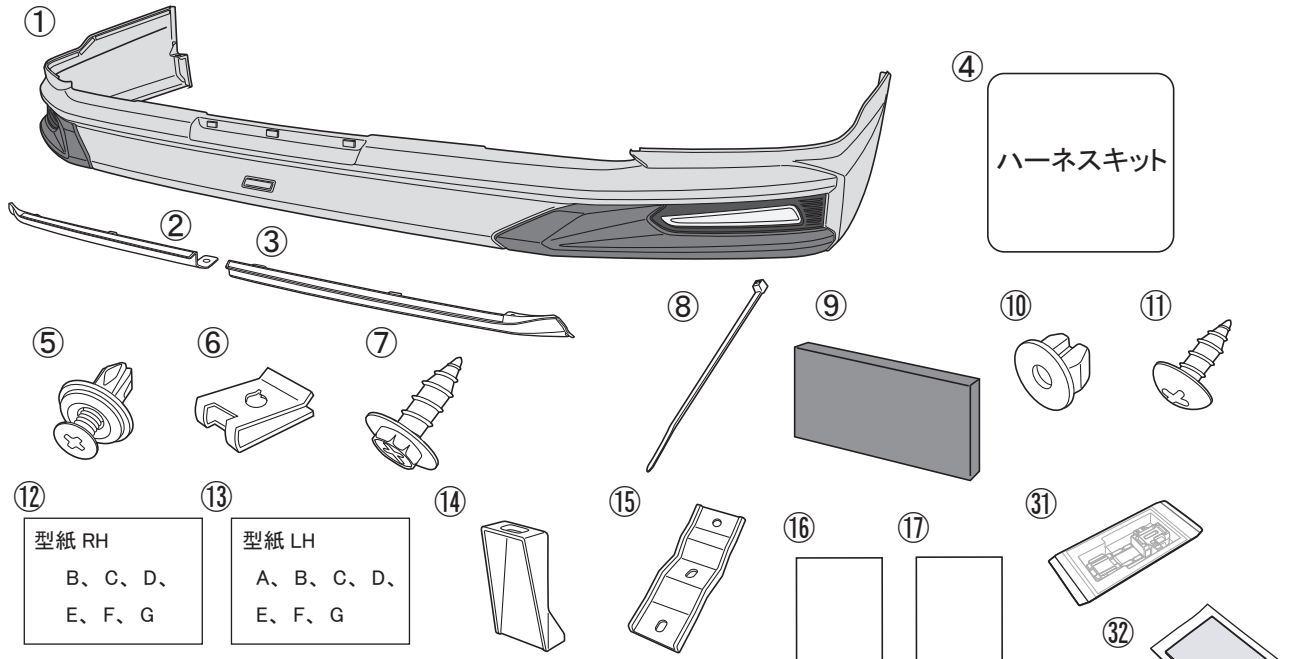
No.	部品名	品番	個数	備考
①	フロントスポイラー		1	PP
②	インナー RH		1	
③	インナー LH		1	
④	ハーネスキット		1	小袋
⑤	スクリベット		15	
⑥	Jナット		4	
⑦	アプセットタッピング		4	5×16
⑧	結束バンド		18	L=150
⑨	クッションテープ		1	50×100
⑩	スクリューグロメット		2	
⑪	トラスタッピング		2	5×12
⑫	穴あけステッカーRH		1	
⑬	穴あけステッカーLH		1	
⑭	樹脂ブラケット		2	
⑮	補強ブラケット		2	
⑯	PACプライマー	08867-00250	1	N-210NT
⑰	PACプライマー	08867-00230	1	K-500
⑳	分岐コネクタ		1	
㉑	シールテープ		1	40×50

以下、MSD41-26014-NP(未塗装品セット)のみに同梱

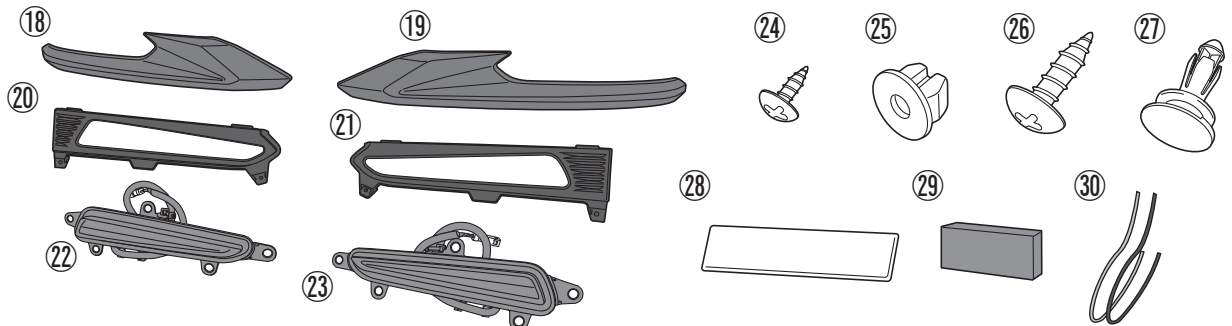
No.	部品名	品番	個数	備考
⑱	メッキパーツ RH		1	
㉒	メッキパーツ LH		1	
㉓	ブラックパーツ RH		1	
㉔	ブラックパーツ LH		1	
㉕	LEDユニット RH		1	
㉖	LEDユニット LH		1	
㉗	トラスタッピング		10	4×10
㉘	スクリューグロメット		4	
㉙	トラスタッピング		4	5×12
㉚	クリップ		4	
㉛	エンブレムプレート		1	
㉜	クッション		3	10×20
㉝	エンドモール(イ型)		各1	グレー:L=2000 黒:L=2000

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MSD41-26014-NP(未塗装品セット)のみに同梱



③⑩エンドモール(イ型)推奨使用色

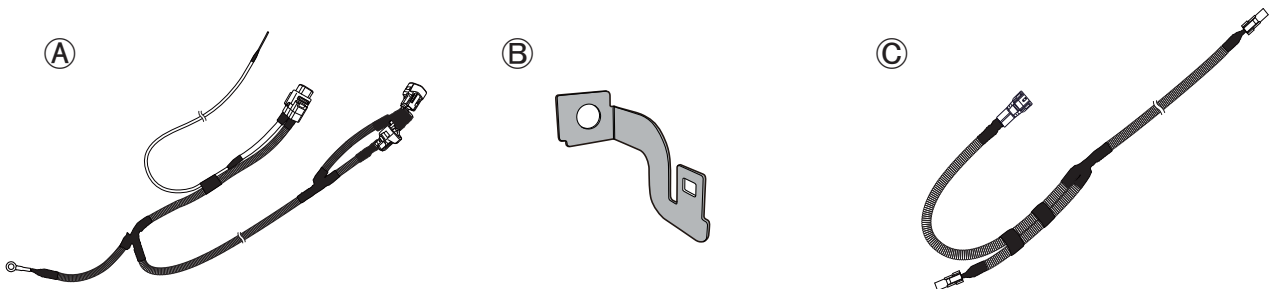
色番号	色名称	モール色
058	ホワイト	グレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	グレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	グレー
1E7	シルバーマイカメタリック	グレー
209	ブラックマイカ	黒

色番号	色名称	モール色
220	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン	黒
599	ライトイエロー	グレー
4V6	ベージュ	グレー
6X3	アーバンカーキ	グレー

■ ④ハーネスキット 構成部品

No.	部品名	品番	個数	備考
Ⓐ	電源ハーネス		1	車体側用
Ⓑ	ヒューズ固定用ブラケット		1	
Ⓒ	スポイラーハーネス		1	スポイラー裏側用

□ 構成部品図



取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行なってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行なうと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



やってはいけないこと



必ず行なっていただくこと

警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。
- ⓪ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行なってください。
- ⓪ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより、重大な事故や故障を招くおそれがあります。

注意

- ⓪ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ⓪ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
- ⓪ 本商品の装着により、タイヤとタイヤハウスとの隙間が少なくなる場合があります。洗車やタイヤ交換の際、手指を挟んだりぶつけたりしないよう、ご注意ください。

脱脂作業について(別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ⓪ 脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用して確実な脱脂を行なってください。
- ⓪ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂ができず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

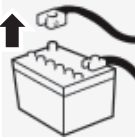
- ⓪ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ⓪ 両面テープは一度貼付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼付けはできません。
- ⓪ 本商品の両面テープは、環境温度が20°C以下の低温時には接着力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⓪ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行なってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊖ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ⓪ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ⓪ バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化は、GTS等のツールが必要な場合があります。
- ⓪ 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

LEDデイタイムランプ配線取付け上のご注意

- ❶ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❷ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。取付け作業後は必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



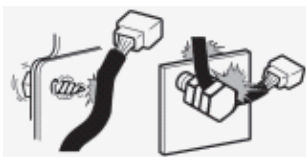
取付ける前に

- ・作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外す。

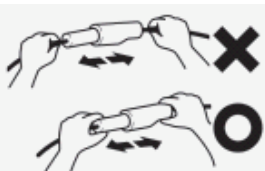


部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。

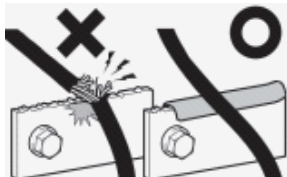


- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

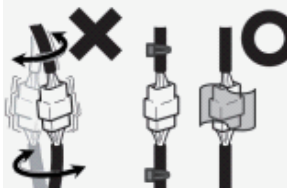
- ・コネクタは必ず本体持って外し、配線は引っ張らない。



- ・バリやエッジ部はガムテープ等で保護をする。



- ・コネクタは「カチッ」と音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端がほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクタが振動により異音がしないように確実に固定する。

⚠ **注意**： エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり、部品を取付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエータキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。ラジエータキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

⚠ **注意**： バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように、十分に注意して作業を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種	1
2. 構成部品、構成部品図	2~3
3. 取付け上のご注意(取付け作業の方へ)	4
4. LEDデイトタイムランプ配線取付け上のご注意	5
5. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付け構成図	6
6. 取付け準備・取付け要領	7~26
7. 取付け完了後の点検・注意事項	27
8. 未塗装品の取扱いについて	28~31
9. 補修キットの両面テープ貼付け・配線図	32

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー・プライヤー
- ・ケガキ針・ヤスリ・保護メガネ・エアソー
- ・電動ドリル(刃: 3.0mm/5.0mm/6.0mm)
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
- ・イソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

■ 保証について

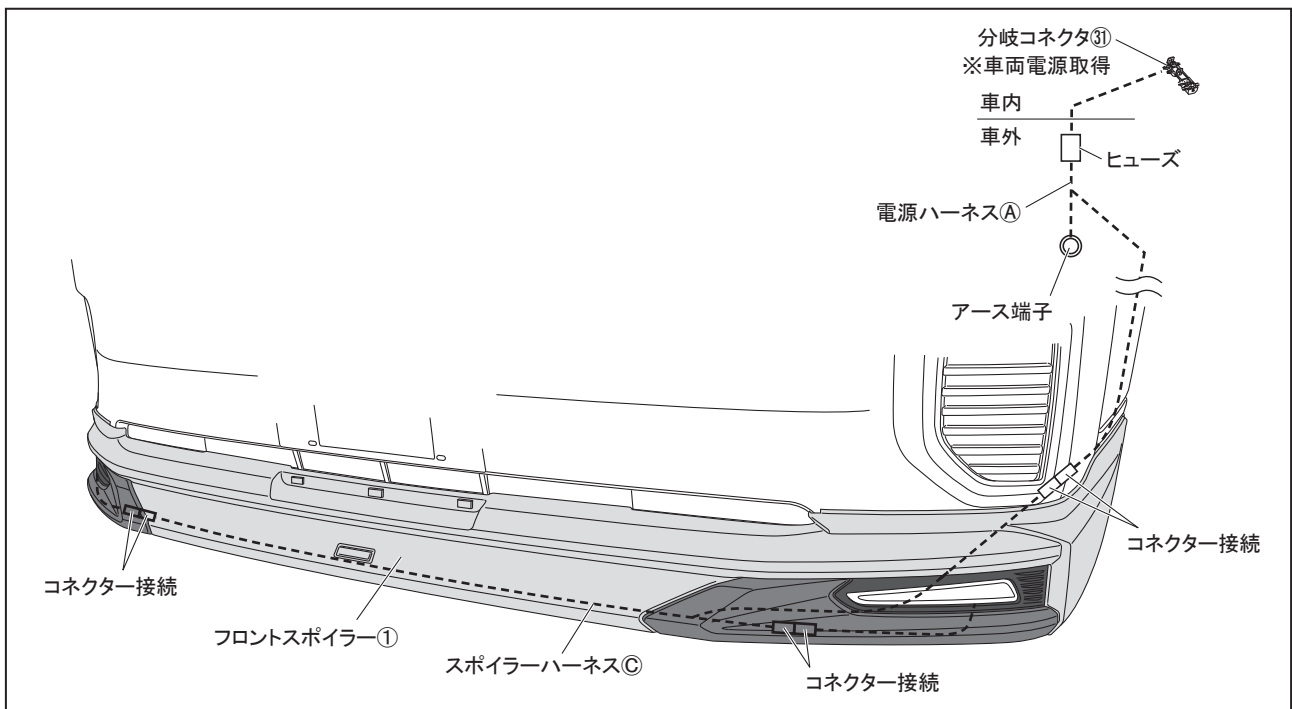
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

(1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はMODELLISTA公式サイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付け構成図



□ フロントスポイラーの取付け準備 -1

1. バッテリーの(-)端子を取外す。
2. ナンバープレートを取外す。
3. 車両からサイドステップカバー及びフロントバンパー、尿素タンクプロテクター(ディーゼル車のみ)を取外す。

アドバイス: ナンバープレート、サイドステップカバー、フロントバンパー、尿素タンクプロテクター(ディーゼル車のみ)の取外しの詳細は該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)をご参照ください。
取外した車両ビス類は再使用します。

4. 図1のように穴あけステッカー(A)、(B)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)LH⑬をフロントバンパー及びサイドステップカバーへ貼付ける。

注意: 必ず穴あけステッカー(A)から(G)の順に貼付けてください。

図1 ※LH図示 左右共通作業

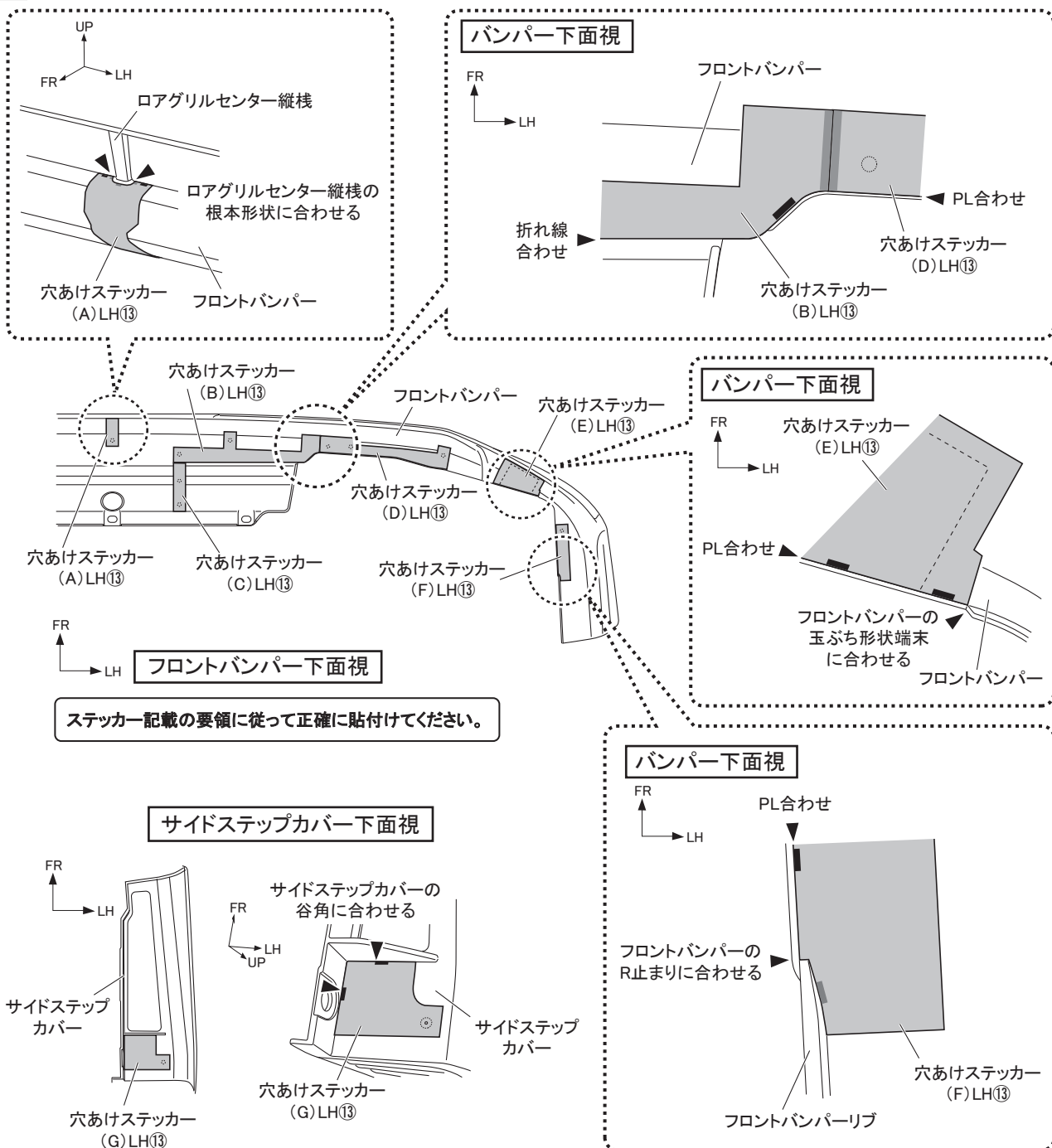
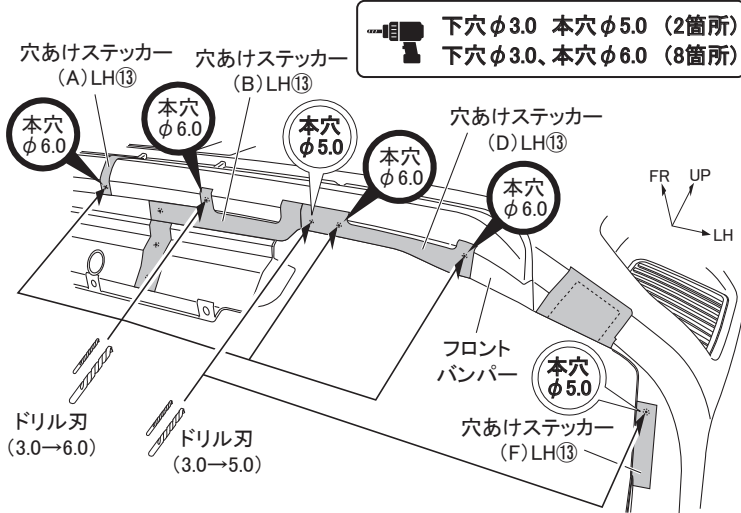
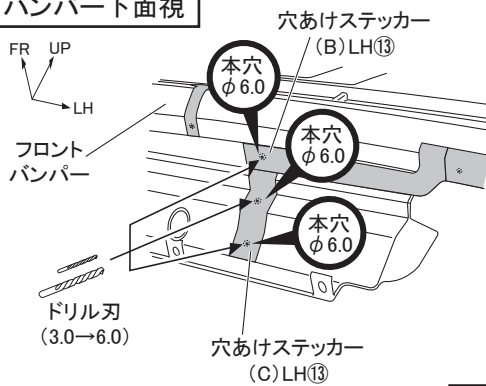


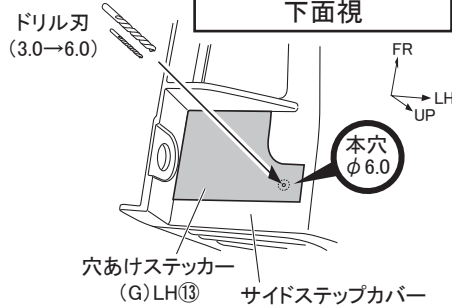
図2 ※LH図示 左右共通作業



バンパー下面視



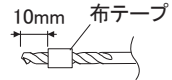
サイドステップカバー 下面視



5. 図2のように穴あけ位置決めステッカー(D) (F)LH13に型抜きされている小さな穴の中心を狙いケガキ針で印を付け、ドリルで下穴をφ3.0であけ、φ5.0の本穴をあける。(2箇所)
6. 図2のように穴あけ位置決めステッカー(A) (B)、(C)、(D)、(G)LH13に型抜きされている小さな穴の中心を狙いケガキ針で印を付け、ドリルで下穴をφ3.0、φ6.0の本穴をあける。(8箇所)

⚠ **注意**：作業時は保護メガネを着用してください。
穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

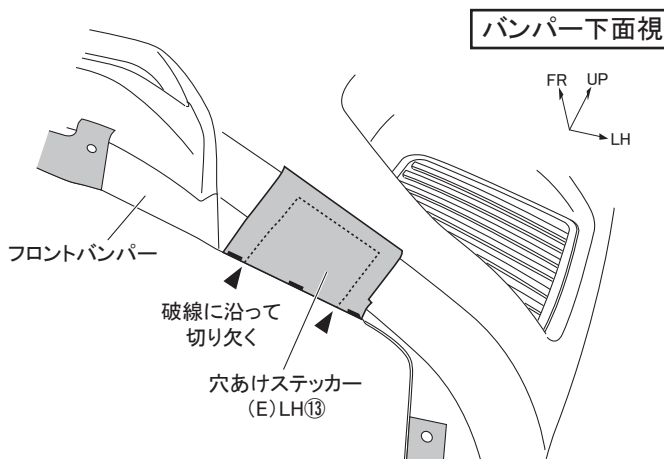
📌 **アドバイス**：突き抜け防止のため、ドリル先端から10mmのところ布テープを巻付けてください。



型抜きされている穴中心を狙って穴あけをしてください。



図3 ※LH図示 左右共通作業



7. 図3のように穴あけ位置決めステッカー(E)LH13の破線部に沿ってフロントバンパーを切り欠く。
8. 全ての穴あけステッカーを剥がし、穴周囲及び切り欠き周囲のバリを除去する。

■ 取付け作業の選択

本製品を取付ける際、同時装着される製品により、行っていただく作業と、行わない作業を選択する必要があります。下記の表をご確認いただき適切な取付作業を選択してください。

選択 1 | モデルスタシグネチャーイルミブレードが装着されていない場合

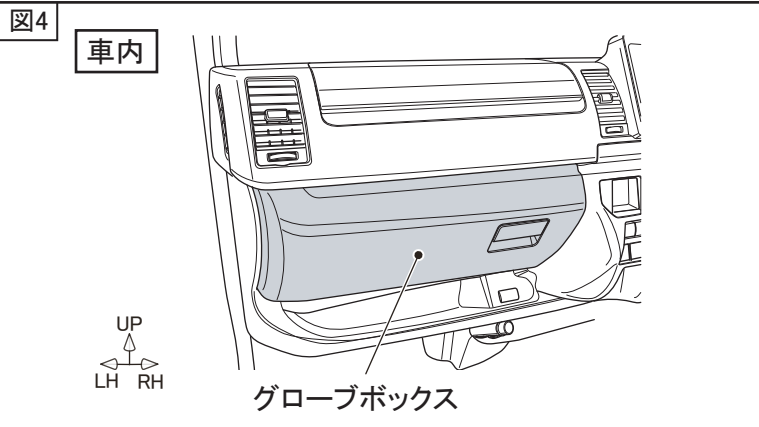
- ・全ての構成部品を使用します。
- ・電源ハーネス①の配線から作業を行います。

選択 2 | モデルスタシグネチャーイルミブレードが装着されている場合

- ・構成部品ハーネスキット④内の電源ハーネス①、ヒューズ固定用ブラケット②及び、結束バンド③(6本)、クッションテープ⑨、シールテープ⑩は使用しません。
- ・スポイラーハーネス⑤の配線作業から作業を行います。

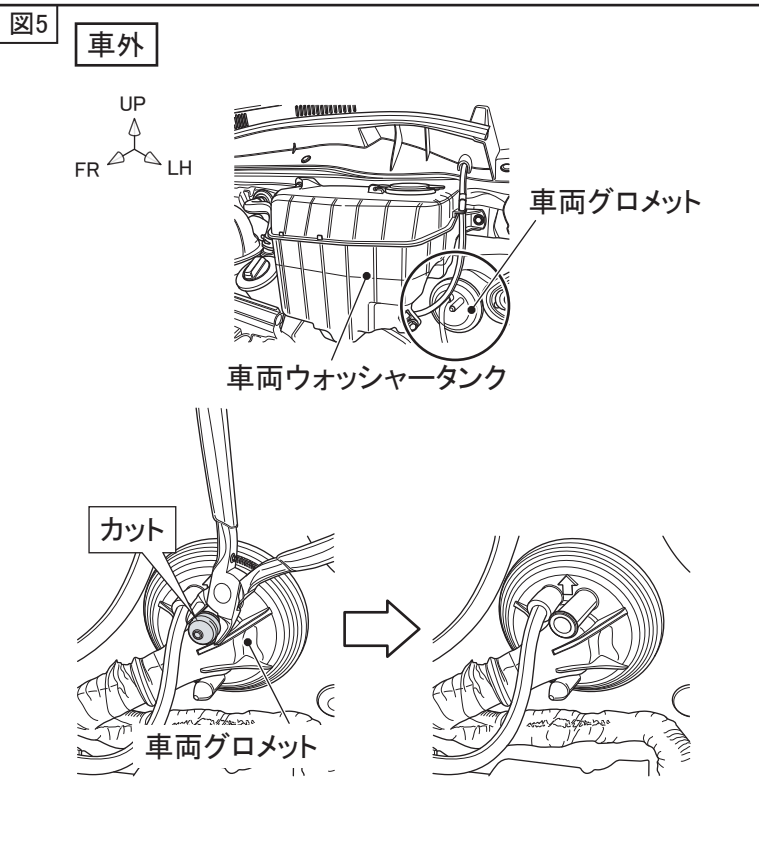
□ 電源ハーネス①の取付け

※シグネチャーイルミブレード装着車は、19ページの口スポイラーハーネス⑤の配線作業に進んでください。



1. 図4のように車両修理書に従いグローブボックスを取り外します。

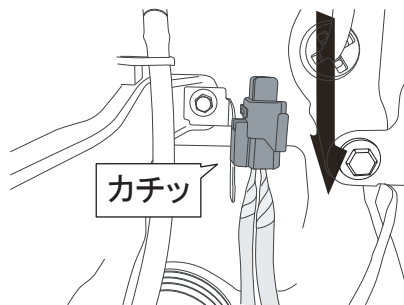
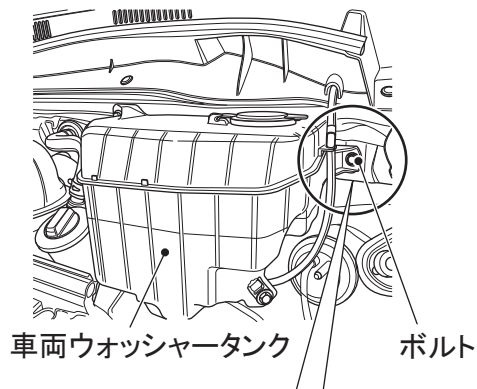
⚠注意：車両部品を取り外す際、裏側のコネクタを断線させないように注意してください。



2. 図5のように車両のグロメットを加工します。

図6

車外



3. 図6のように車両ウォッシャータンクを固定しているボルト(1本)を取り外します。

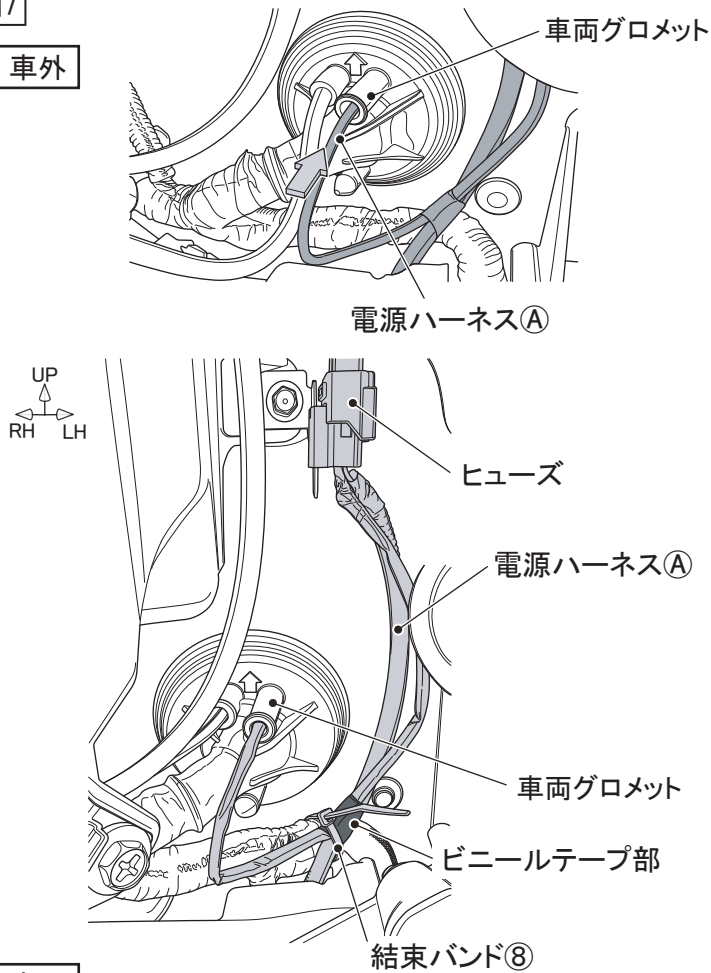
4. 図6のようにヒューズ固定用ブラケット③を3.で車両から取り外したボルトを使用して取り付けます。

⚠ **注意:** ボルトの締め付けは、車両修理書に従い規定のトルクで行ってください。
締め付けトルク : 4.9N・m

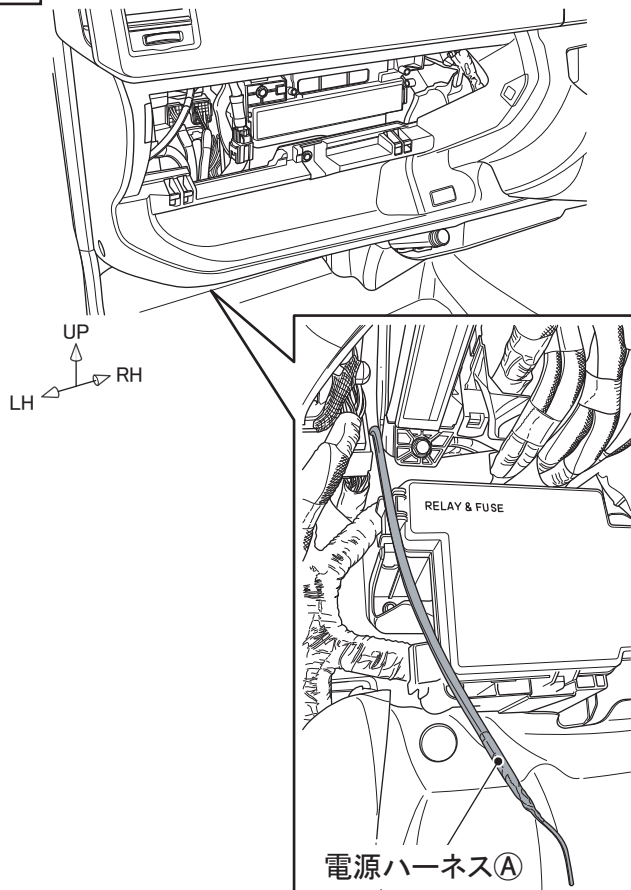
5. 図6のように4.で固定したヒューズ固定用ブラケット③に電源ハーネス④のヒューズ部を「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。

図7

車外



車内



6. 図7のように図5(2.)で加工した車両グロメットの穴に、電源ハーネス①の赤色線を挿入して車内側へ通します。



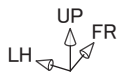
7. 図7のように電源ハーネスのヒューズから車両グロメットまでの長さを、左図を参考に調整します。
8. 図7のように結束バンド⑧を使用して、電源ハーネス①のビニールテープ部を車両ハーネスへ固定してください。
9. 図7のように車内のグローブボックス下部を覗いて、車外側から電源ハーネス①が通っているか確認します。

10. 図7のように電源ハーネス①を手前に取り出します。

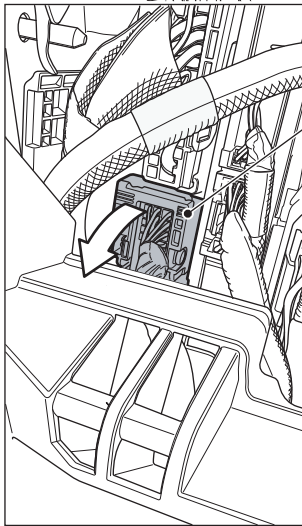
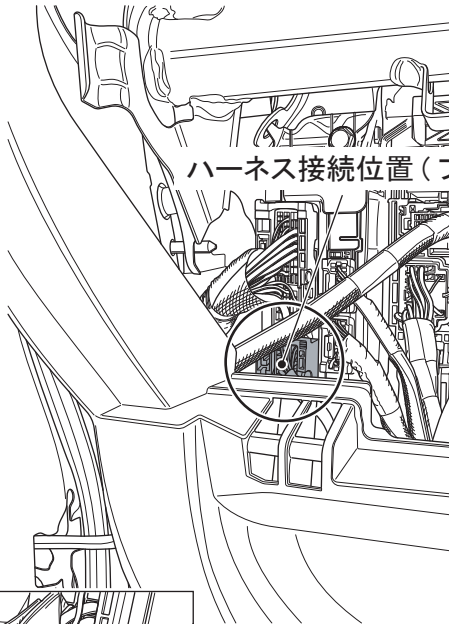
⚠ **注意:** 電源ハーネス①を取り出す際は、強く引っ張りすぎないようにしてください。

図8

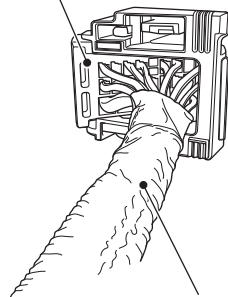
車内



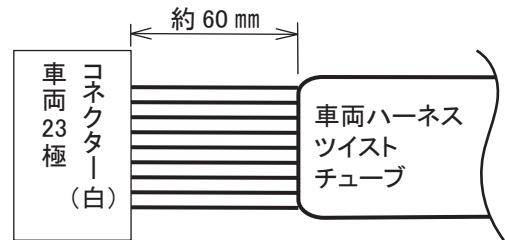
ハーネス接続位置 (プラス)



車両 23 極コネクタ (白)

車両ハーネス
ツイストチューブ

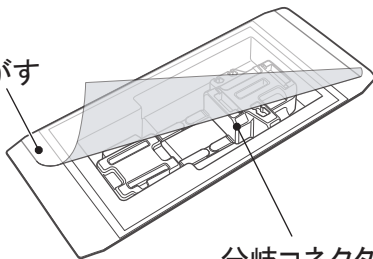
11. 図8のようにグローブボックス下の車両コネクタ配列の中から、電源取り出しで使用する、左図○部コネクタを確認します。
12. 車両23極コネクタ(白)を固定しているレバーを下げ、コネクタのロックを解除します。
13. コネクタを取り外します。
14. 取り外したコネクタからツイストチューブまでの長さが 60 mm となるように、覆っているビニールテープ及びツイストチューブをカットします。



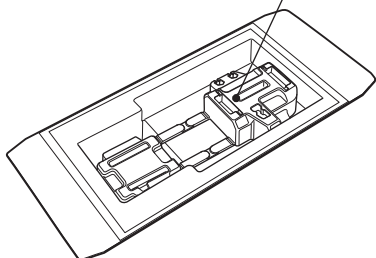
⚠ 注意: ビニールテープ、ツイストチューブをカットする際、配線を切らないように注意してください。

図9

剥がす

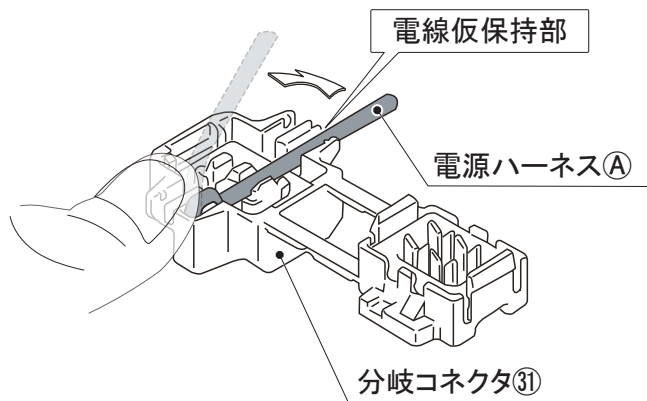
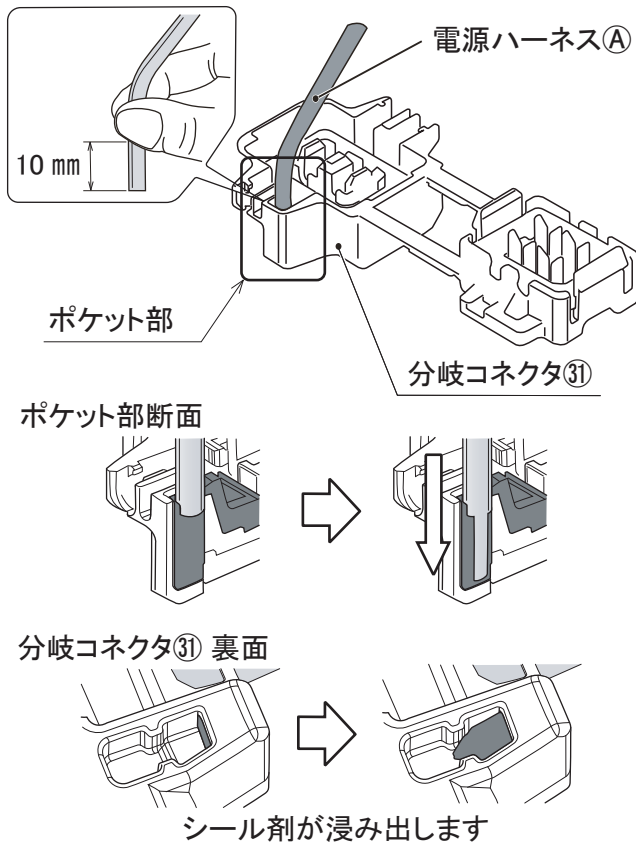


分岐コネクタ③①

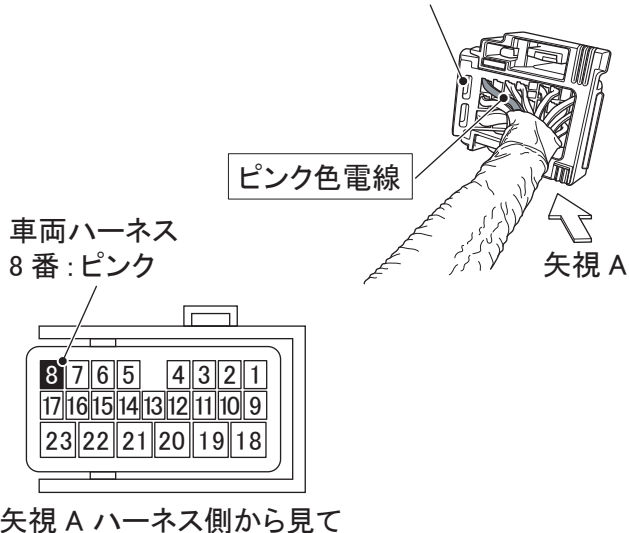


15. 図9のように分岐コネクタ③①を取り出します。

図10

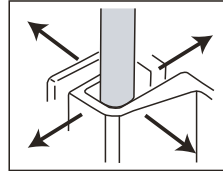


車両 23 極コネクタ (白)

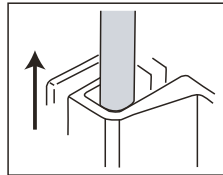


16. 図10のように電源ハーネス①の赤色の電線を先端から約10mmの位置で持ちます。
17. 分岐コネクタ③①のポケット部に電源ハーネス①を挿入します。

⚠ 注意: 電線挿入後は下図のような行為は行わないでください。



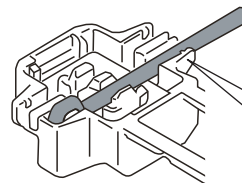
電線を左右前後に動かさないでください



挿入した電線は抜かないでください

18. 図10のようにポケットに挿入した③電源ハーネスの電線が抜けないように、ポケット上部を押さえます。
19. 電源ハーネス①を左図のように折り曲げて分岐コネクタ③①の電線仮保持部に嵌めてください。

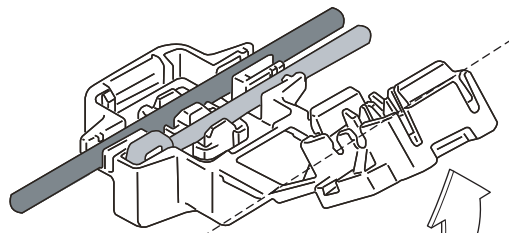
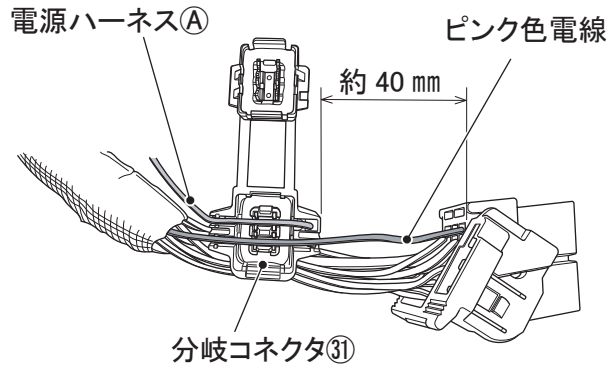
👉 アドバイス: 電線仮保持部へ電線が嵌め込まれると、「パチッ」とクリック音がなります。



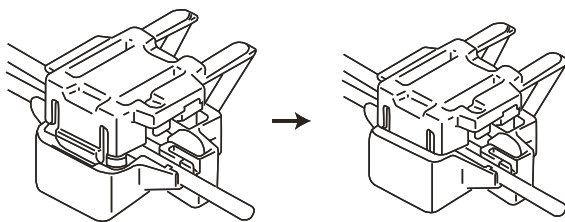
「パチッ」と音がなります。

20. 電源ハーネス①(赤色線)を接続する、車両コネクタのピンク色電線の位置を確認します。

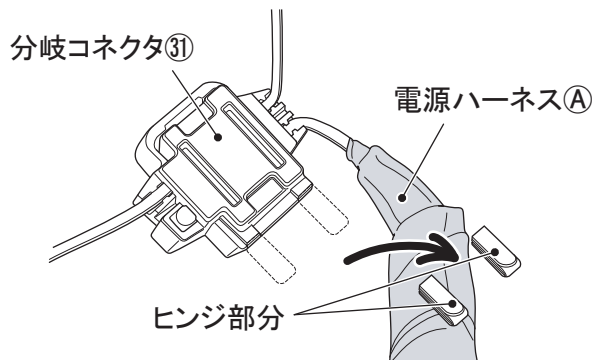
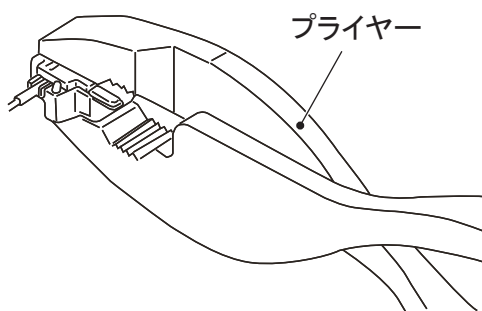
図11



ヒンジ部を中心に折りたたむ



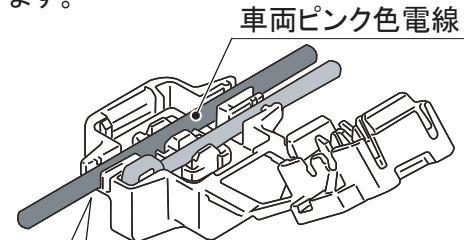
※ロックのツメが隠れる程度の高さまで
 箆めてください。



21. 図11のように車両ピンク色電線を分岐コネクタ③の空いている電線仮保持部に押し込み、車両電線から分岐コネクタ③が外れないようにします。

22. 仮保持した分岐コネクタ③を、車両コネクタ一から、約40mmの位置に合わせます。

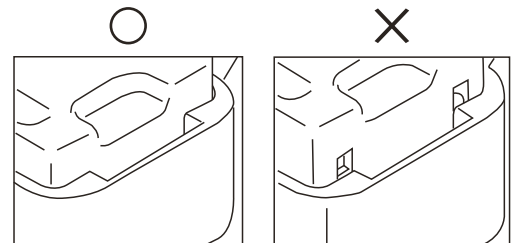
アドバイス: 電線仮保持部へ電線が嵌め込まれると、「パチッ」とクリック音がなります。



「パチッ」と音がなります。

23. 分岐コネクタ③が21.で合わせた位置からズレないように注意して、ヒンジ部を中心に分岐コネクタ③を折りたたみます。

注意: 本止め後、ロック状態を確認してください。穴が隠れている状態が、勘合完了の状態です。



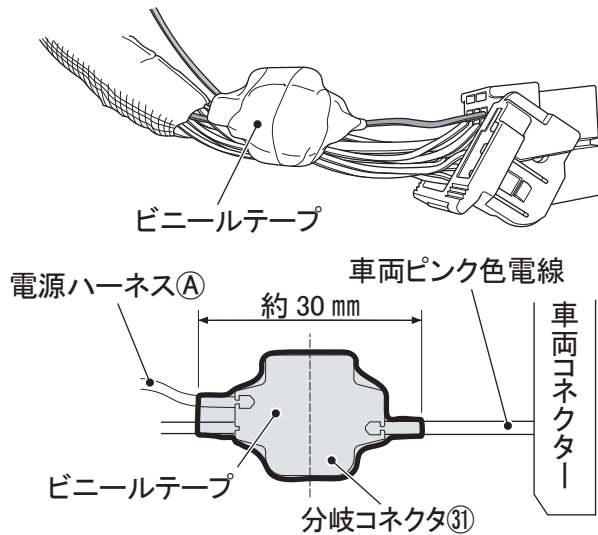
○ 箆合完了状態

✕ 箆合未完了状態

未箆合状態の場合は、プライヤーで挟み直してください。

24. 分岐コネクタ③のヒンジ部分(2カ所)をニッパーで切断します。

図12

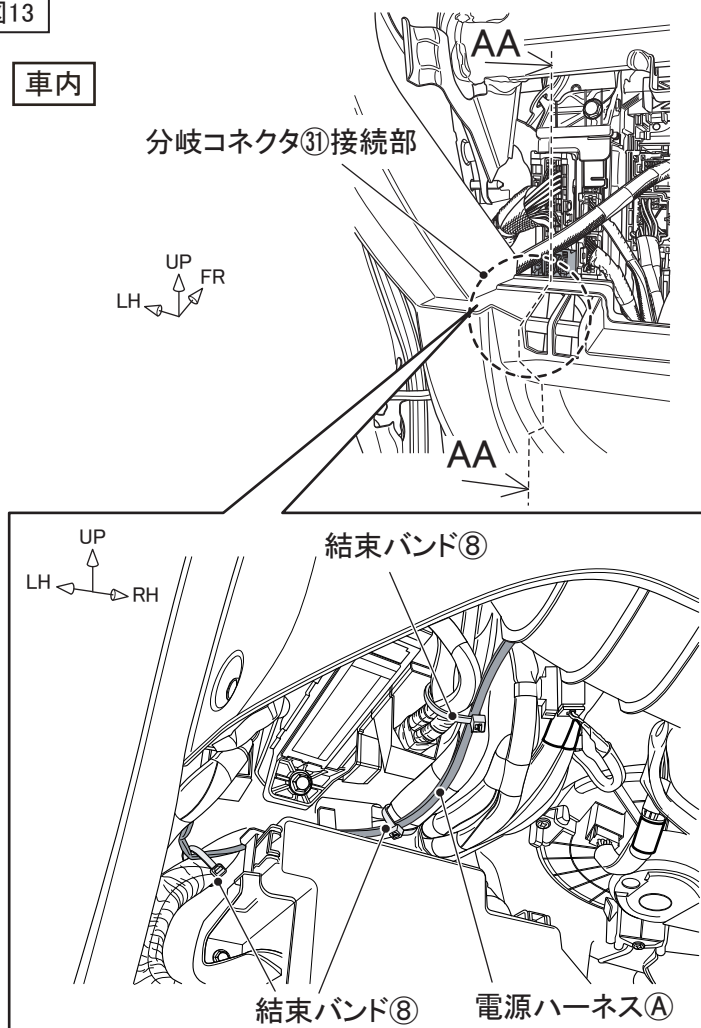


25. 図12のように分岐コネクタ⑳を中心に約30 mmの範囲にビニールテープを巻き付けます。
26. 車両コネクタを復元します。

⚠ **注意:** 車両コネクタを復元する際は、コネクタをロックするレバーを上げて、確実にロックされている事を確認してください。

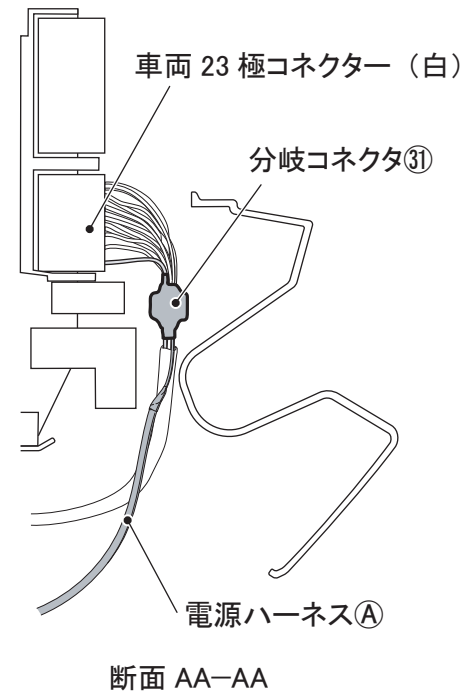
図13

車内



27. 図13のように結束バンド⑧3本を使用して電源ハーネス①を車両ハーネスに仮固定します。

⚠ **注意:** 電源ハーネス①を仮固定する際は分岐コネクタ⑳の位置が、グローブボックス嵌合部のリブと干渉なきよう、下記断面図の位置になるように仮固定します。



28. 電源ハーネス①の余長を調整し、結束バンド⑧を本締め後、結束バンド⑧の余長をカットします。

👉 **アドバイス:** 電源ハーネス①の余長は、車両グロメットより車外側に寄せて調整してください。

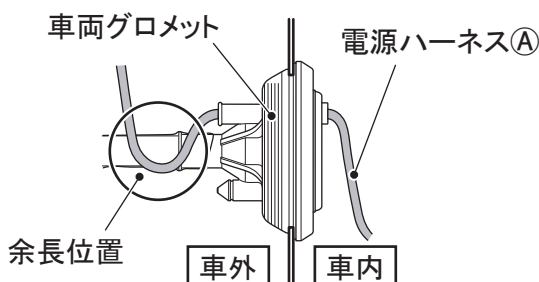
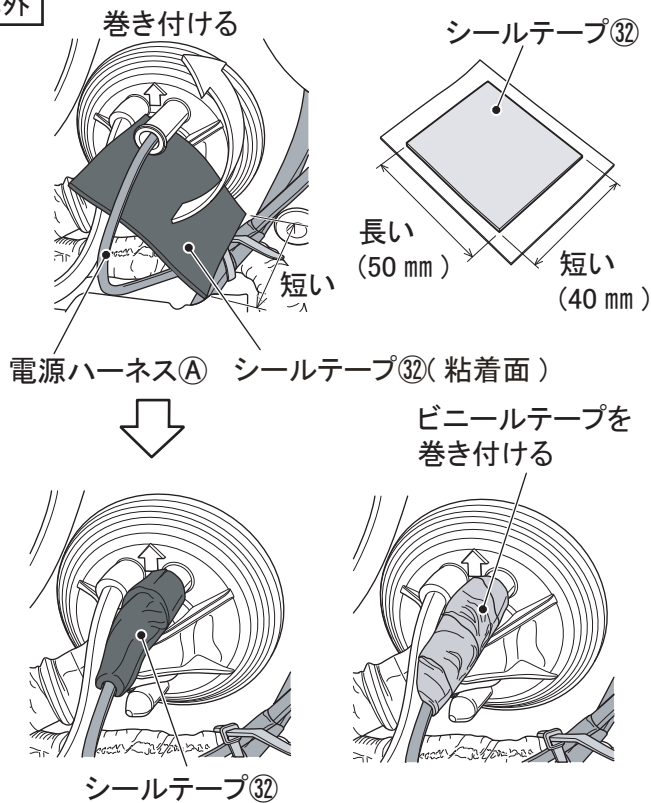


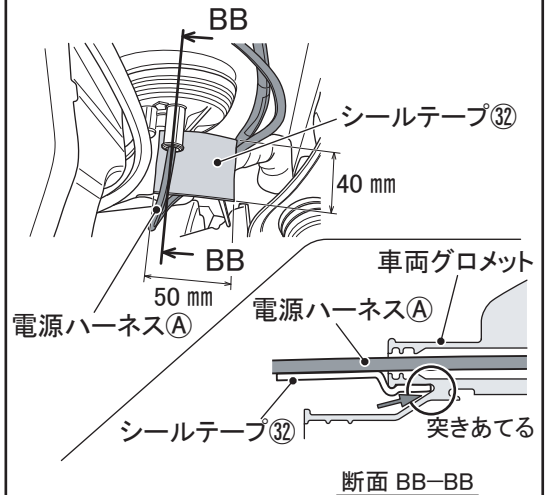
図14

車外



29. 図14のように車両グロメットの電源ハーネス①貫通部分に、シールテープ③②を巻き付けて防水処理をします。

⚠注意: シールテープ③②は、車両グロメットに突きあたるまで、しっかり差し込んでください。差し込みが不十分な場合、防水性低下のおそれがあります。

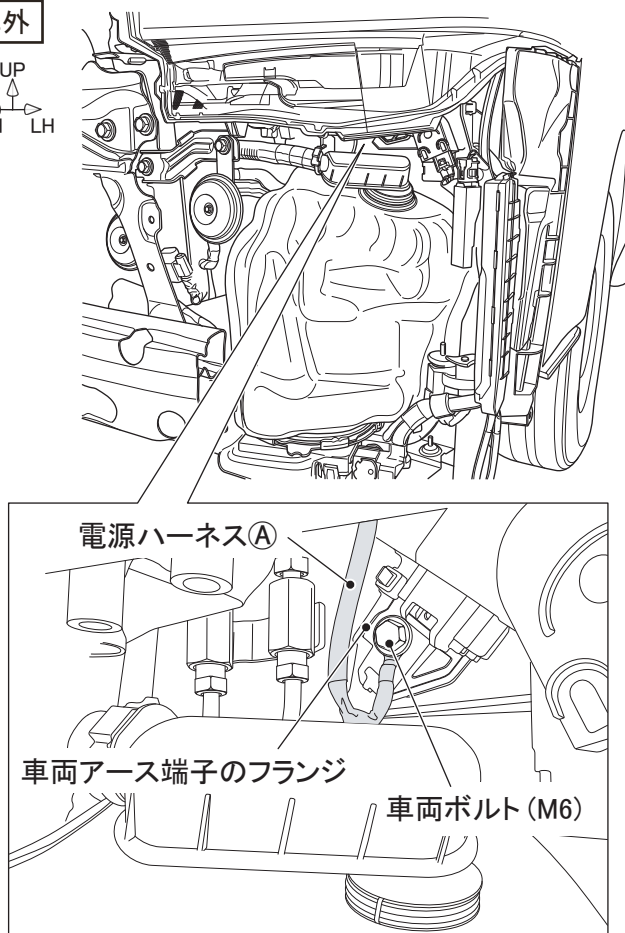


30. シールテープ③②の上にビニールテープを巻き付けます。

図15

車外

UP
RH LH



31. 車両ヘッドランプの裏側にあるアース端子を固定している車両ボルト(M6)を取り外します。

32. 電源ハーネス(A)の丸型端子を、31.で取り外した車両ボルト(M6)を使用して、車両アース端子と共締めしてください。

⚠注意: ボルトの締め付けは、車両修理書に従い規定のトルクで行ってください。
締め付けトルク: 8.5N・m

⚠注意:
・車両ボルトを固定する際、丸型端子の収縮チューブが車両ボルトのフランジに噛み込まないように注意してください。
・車両アース端子のフランジに電源ハーネス(A)が乗り上げないように注意してください。

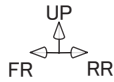
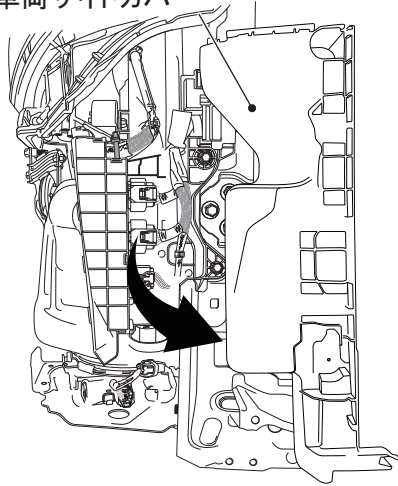
👉アドバイス: ヘッドランプを取り外し電源ハーネス(A)の配策作業を行うと作業効率が向上します。

👉アドバイス: ヘッドランプの取り外し作業を行った場合は、車両修理書に従い復元作業を行ってください。

図16

車外

車両サイドカバー



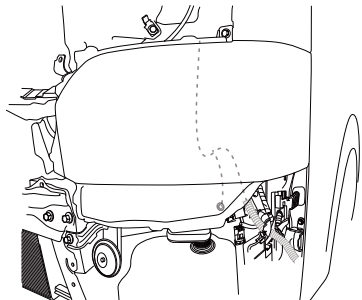
33. 図16のように車両サイドカバーを車両修理書に従い取り外します。

⚠注意：取り外した車両部品は復元しますので、キズや破損させないように大切に保管してください。

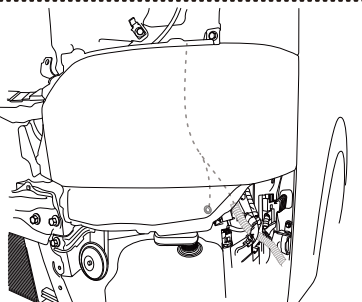
図17

〈図I〉

下図を参考に図7(8.)で固定した箇所から図IIにて固定する電源ハーネスAまでが弛まないようにしてください。

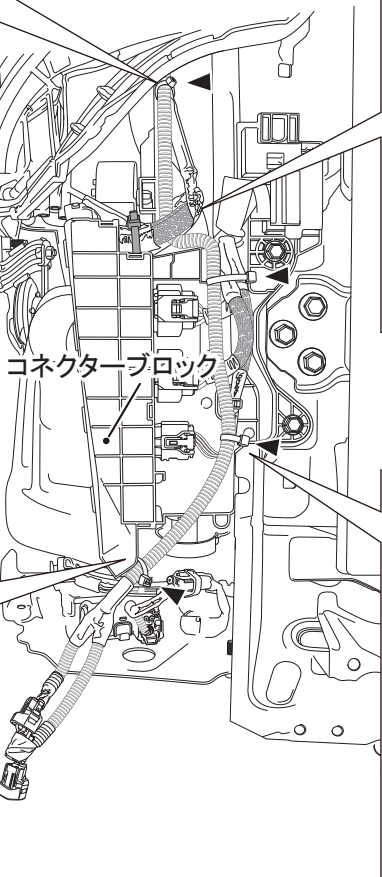


<NG例>



<OK例>

※結束バンド⑧の固定位置を(◀)印で表しています。(4箇所)



コネクターブロック

〈図II〉

電源ハーネスA 車両側ハーネス

電源ハーネスAは車両側ハーネスの下を通し配索してください。

〈図IV〉

クランプ

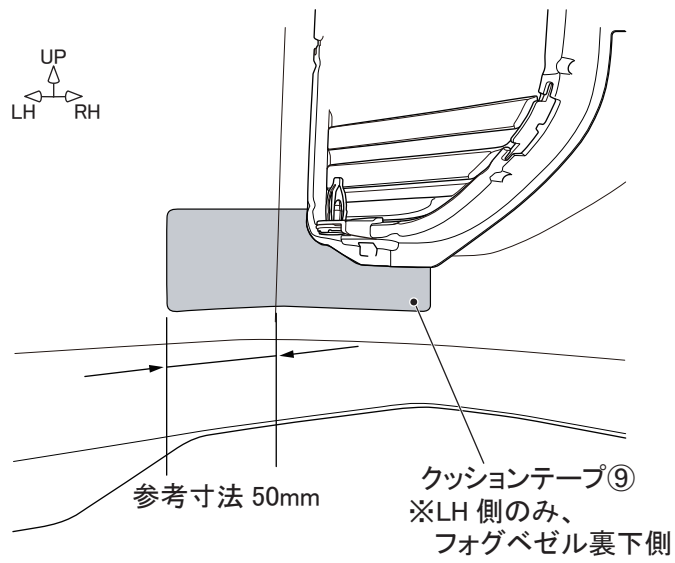
結束バンド⑧

〈図III〉

結束バンド⑧

- 34. 図17のように結束バンド⑧を使用して、電源ハーネスAを車両側ハーネスへ固定してください。(4箇所)
- 35. 図17のように電源ハーネスAの余長を調整し、結束バンド⑧の余長分をカットしてください。
- 36. 図16(33.)で取り外したサイドカバーを復元してください。

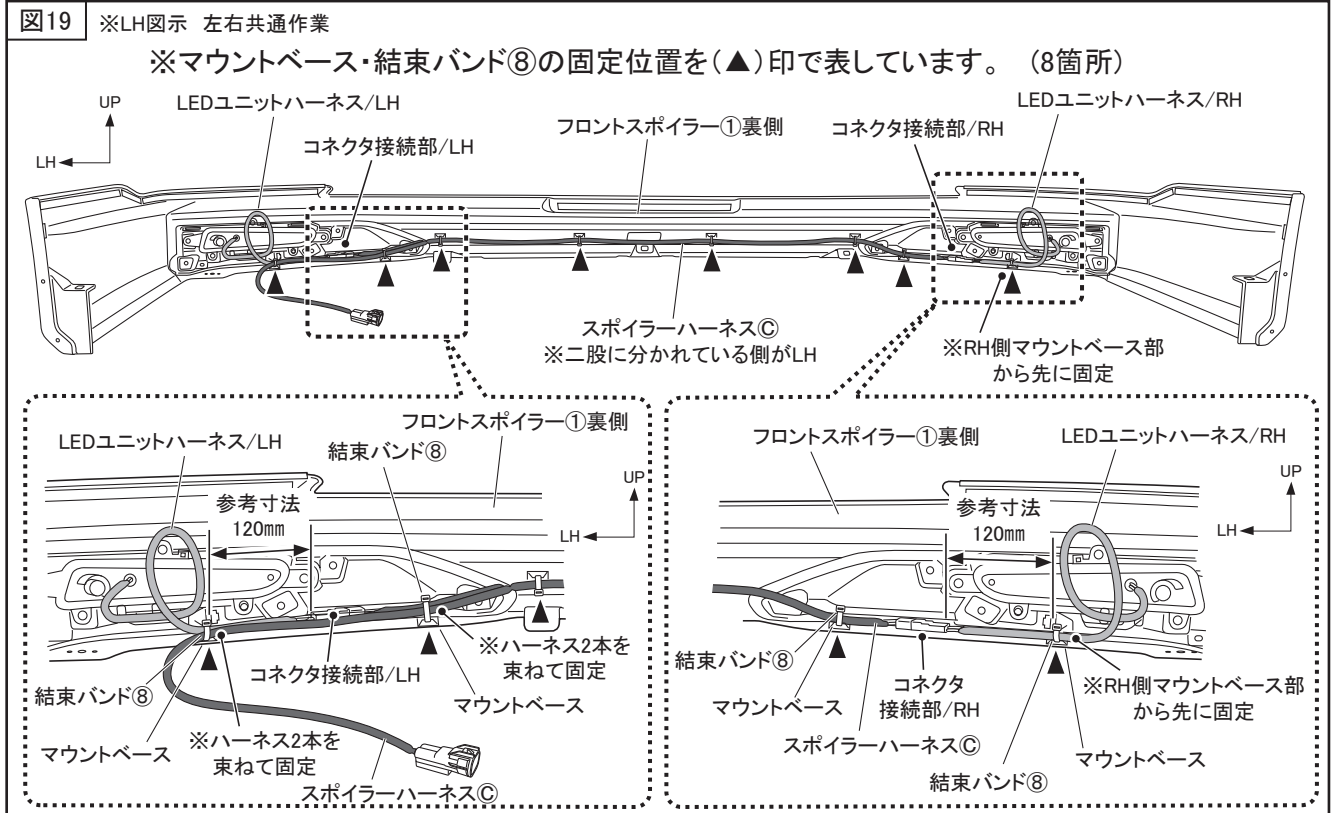
図18



37. 図18のように左図を参考に車両バンパーのキャラクターラインとクッションテープ⑨端末が50mm程度になる位置で貼付けてください。

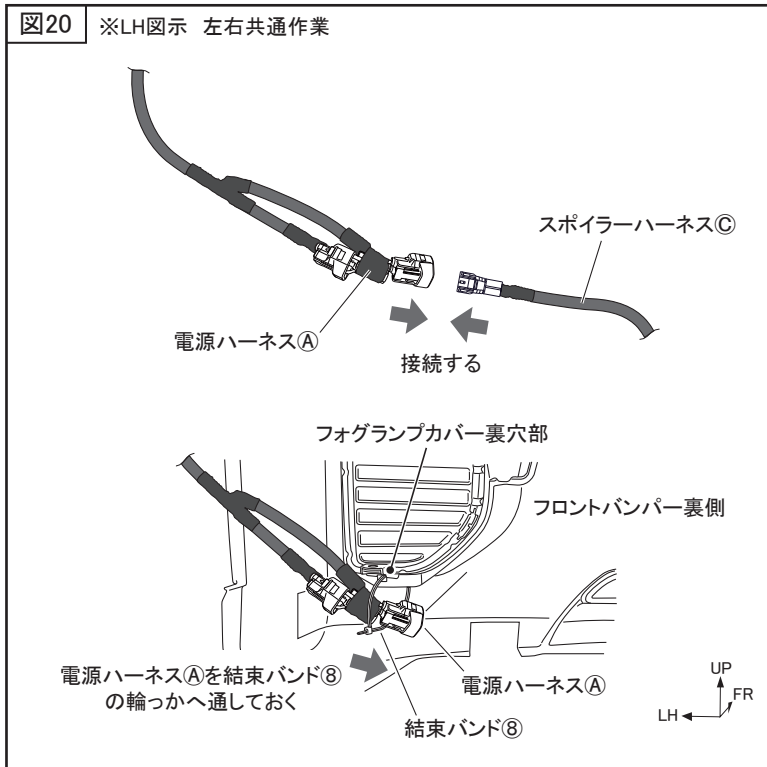
□ スポイラーハーネス③の配線作業

1. 図19のようにフロントスポイラー①裏側のLEDユニットハーネスのコネクタとスポイラーハーネス③のコネクタを接続する。
2. 図19のようにスポイラーハーネス③を下図の要領で配策し、余長を調整してマウントベース部を結束バンド⑧で固定する。(8箇所)



□ 点灯確認

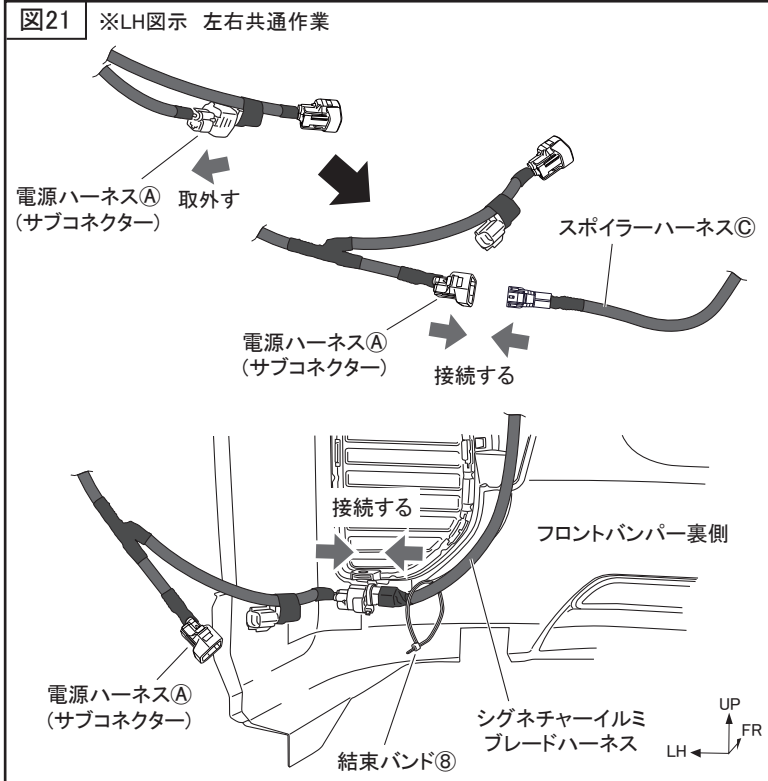
◆ シグネチャーイルミブレードが装着されていない場合



1. 図20のように車体側の電源ハーネス①とスポイラーハーネス③を接続する。(1箇所)
2. バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションONの状態にしてLEDデイトイムランプの点灯確認を行う。
点灯確認後、イグニッションをOFFにしてバッテリーのマイナス端子を外す。
3. 電源ハーネス①とスポイラーハーネス③を取外す。
4. 図20のように後の配線作業の為、フォグランプカバー裏の穴へ結束バンド⑧を通して輪っか状態にし、電源ハーネス①を通して置く。
5. 車両バンパー、サイドステップカバーを復元する。

▲ 注意：点灯確認の際、フロントスポイラー及び車体に傷をつけないようにしてください。

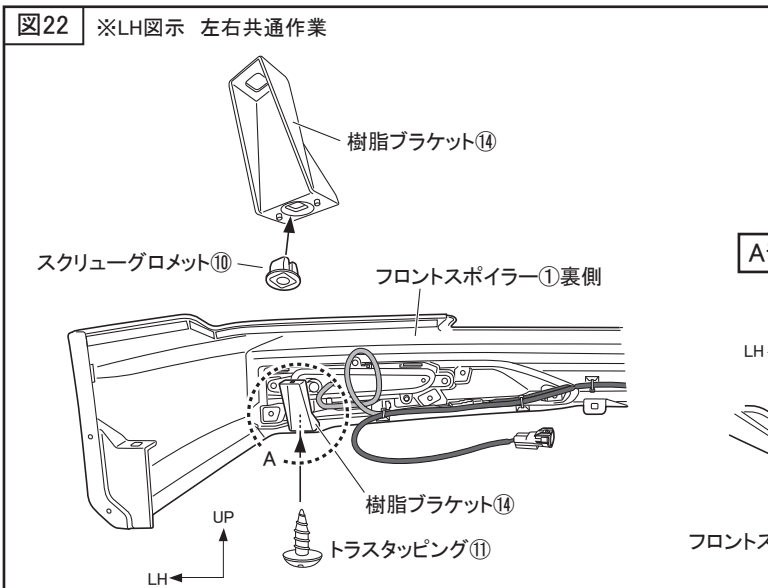
◆シグネチャーイルミブレードが装着されている場合



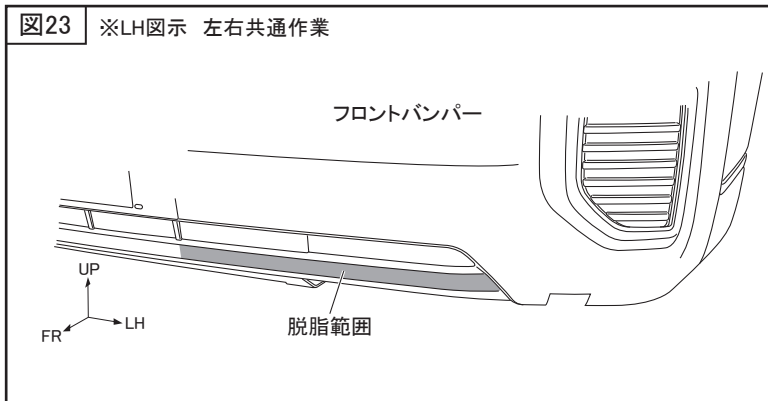
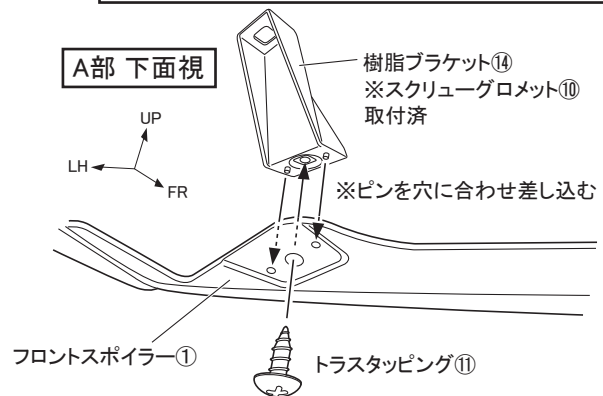
1. 図21のように車体側の電源ハーネス(A)からサブコネクタを取外し、スポイラーハーネス(C)と接続する。(1箇所)
2. バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションONの状態にしてLEDデイトイムランプの点灯確認を行う。点灯確認後、イグニッションをOFFにしてバッテリーのマイナス端子を外す。
3. 電源ハーネス(A)とスポイラーハーネス(C)を取外す。
4. 図21のように後の配線作業の為、シグネチャーイルミブレードハーネスへ結束バンド(8)を通して輪っかにしておく。
5. 電源ハーネス(A)とシグネチャーイルミブレードハーネスを接続する。
6. 車両バンパー、サイドステップカバーを復元する。

⚠ 注意：点灯確認の際、フロントスポイラー及び車体に傷をつけないようにしてください。

□ フロントスポイラーの取付け準備 -2



1. 図22のようにスクリューグロメット(10)を樹脂ブラケット(14)に取付ける (1箇所)
2. 図22のように樹脂ブラケット(14)をフロントスポイラー(1)裏側コーナー部へトラスタッピング(11)で固定する。(1箇所)

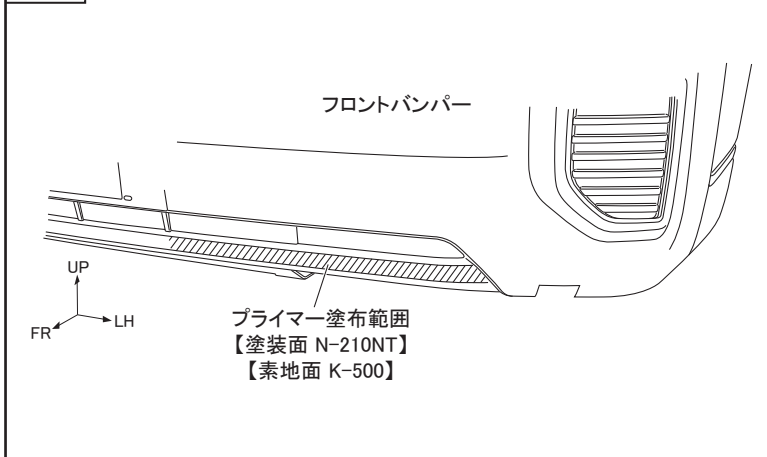



3. 図23 ■部の汚れを取除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂する。

⚠ 注意：脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りテープが剥がれる原因となります。

📌 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。
※脱脂作業要領書を合わせて確認してください。

図24 ※LH図示 左右共通作業

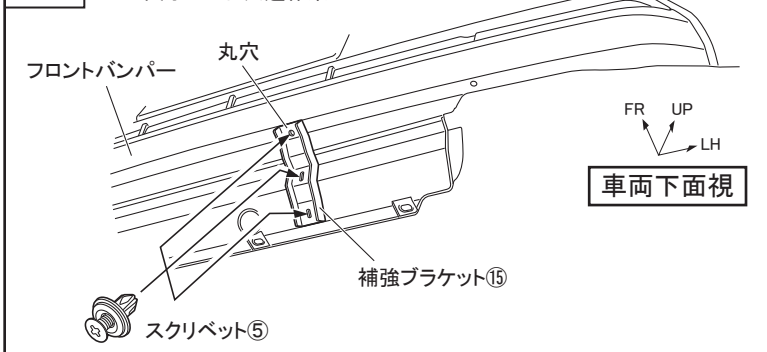


4. 図24  部(両面テープ貼付け部)にPACプライマーN-210NT⑯又はPACプライマーK-500⑰を塗布する。

⚠ **注意:** PACプライマーは必ず塗布部位により使い分けてください。
塗装面: N-210NT 素地面: K-500

👉 **アドバイス:** PACプライマー塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

図25 ※LH図示 左右共通作業

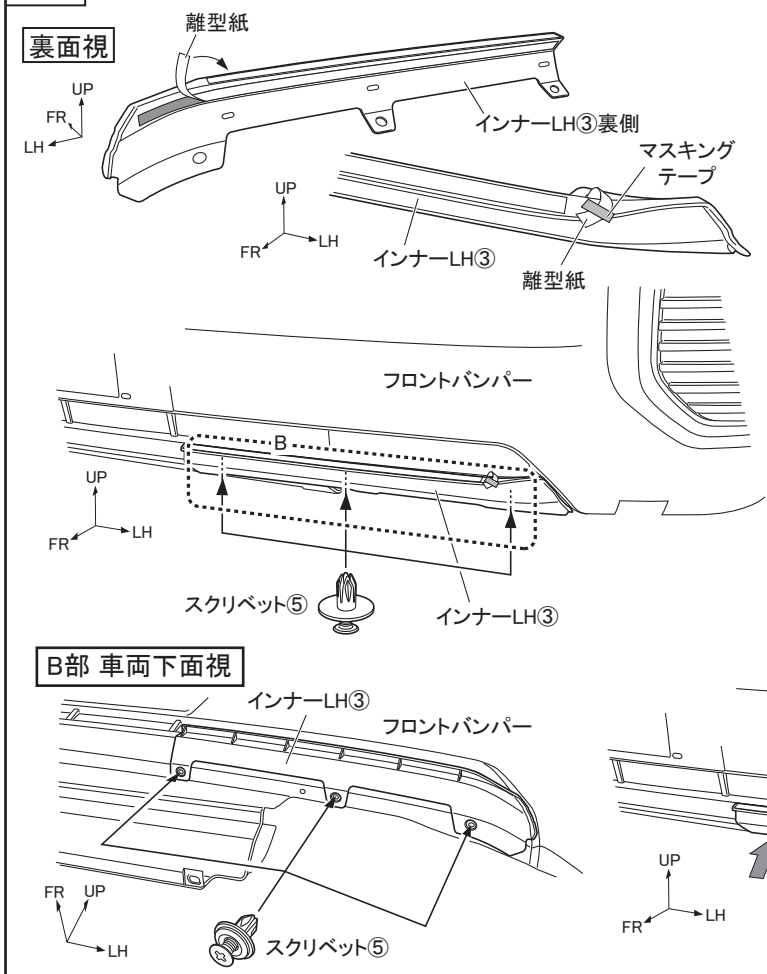


5. 図25のように補強ブラケット⑮をフロントバンパーにスクリベット⑤で固定する。(3箇所)

👉 **アドバイス:** スクリベットが押し込みにくい場合はプラスドライバーを回して締め込んでください。

⚠ **注意:** 補強ブラケット⑮は丸穴が車両前側になるように取付けてください。

図26 ※LH図示 左右共通作業



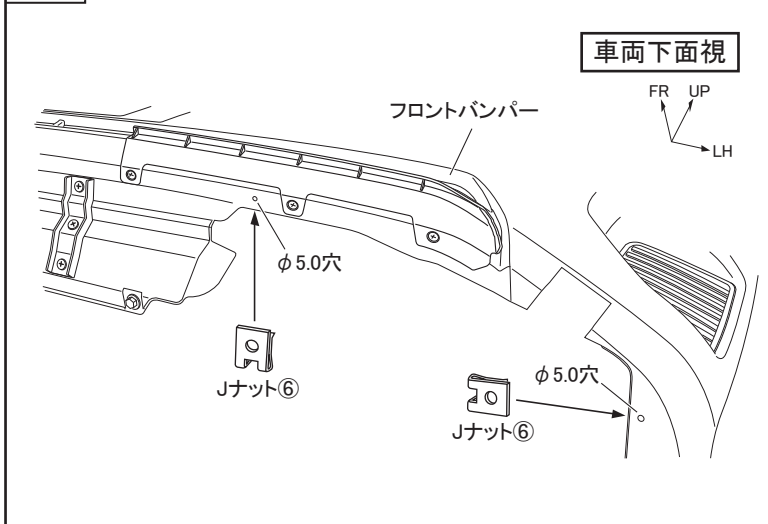
6. 図26のようにインナーLH③裏側の両面テープ離型紙を矢印の方向に30mm程度剥がし、表面に折返してマスキングテープで貼付ける。(1箇所)

7. 図26のようにインナーLH③をフロントバンパーにスクリベット⑤で固定する。(3箇所)

👉 **アドバイス:** スクリベットが押し込みにくい場合はプラスドライバーを回して締め込んでください。

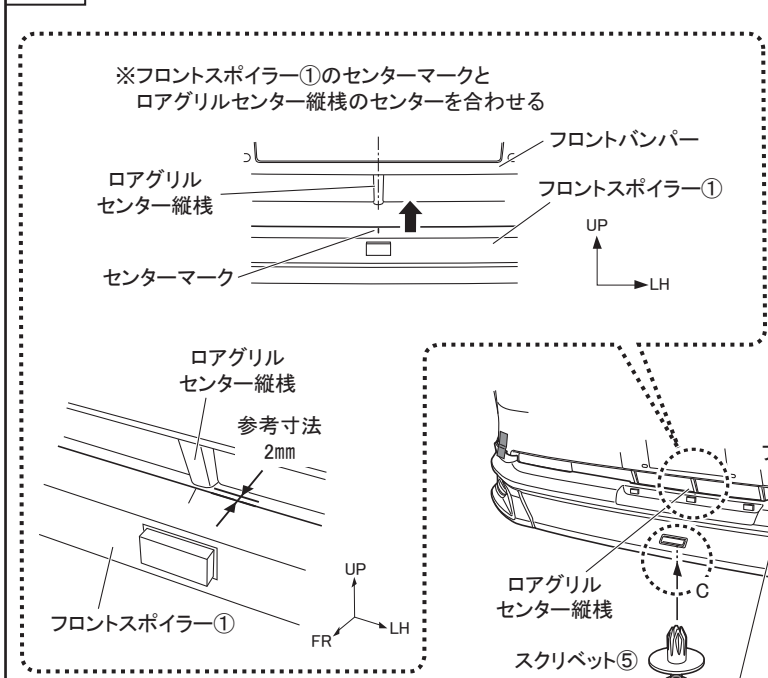
8. 図26のように両面テープ離型紙を矢印の方向へ剥がしながら圧着する。

図27 ※LH図示 左右共通作業



9. 図27のようにJナット⑥をフロントバンパーφ5.0穴に取付ける。(2箇所)

図28 ※LH図示 左右共通作業



10. 図28のようにフロントスポイラー①のセンターマーク(ケガキ)とロアグリル縦線センターを合わせてあて、C、F部をスクリベット⑤、D、E部をアプセットタッピング⑦で仮固定し、養生テープで仮固定する。

アドバイス: スクリベットが押し込みにくい場合はプラスドライバーを回して締め込んでください。

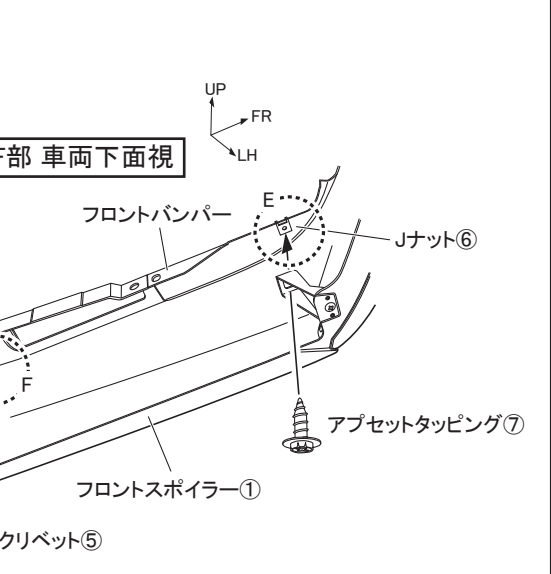
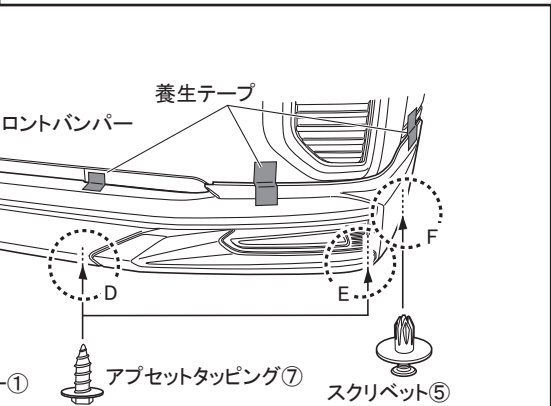
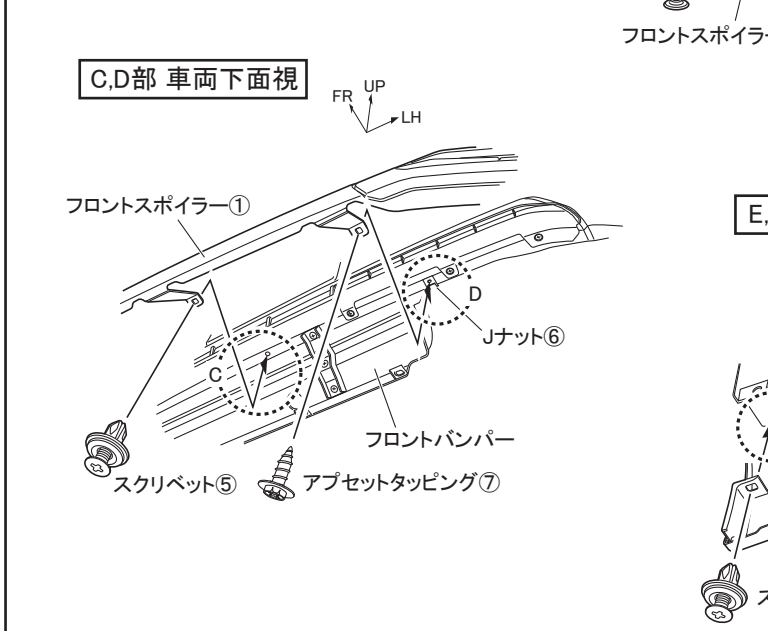
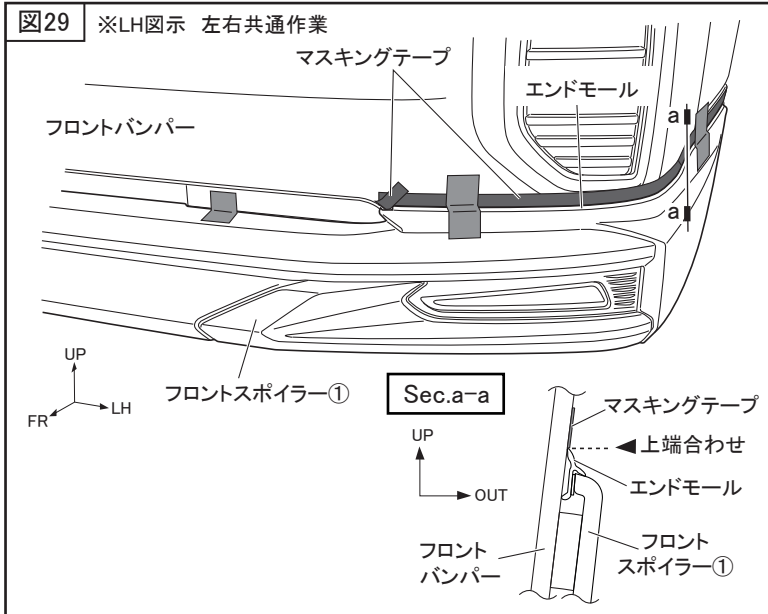


図29 ※LH図示 左右共通作業

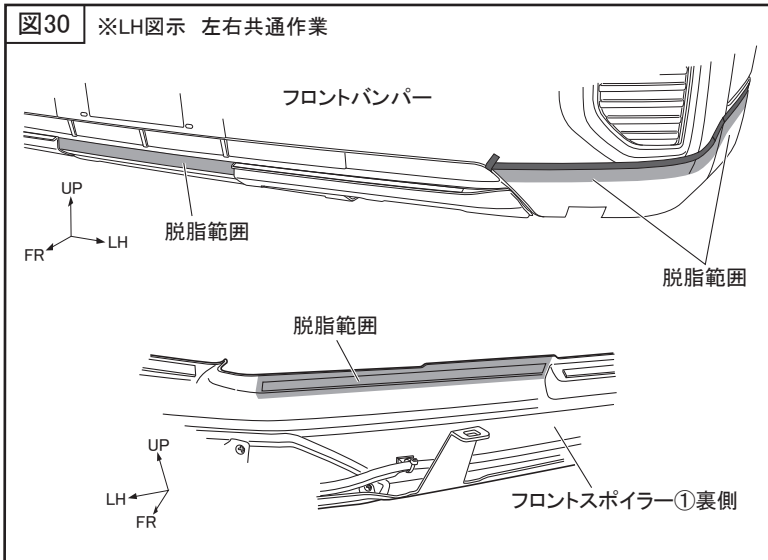


11. 図29のようにフロントスポイラー①のエンドモール上端に合わせてマスキングテープでマスキングする。

⚠注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置を出し、マスキングを行なってください。

12. フロントスポイラー①を一旦取外す。

図30 ※LH図示 左右共通作業

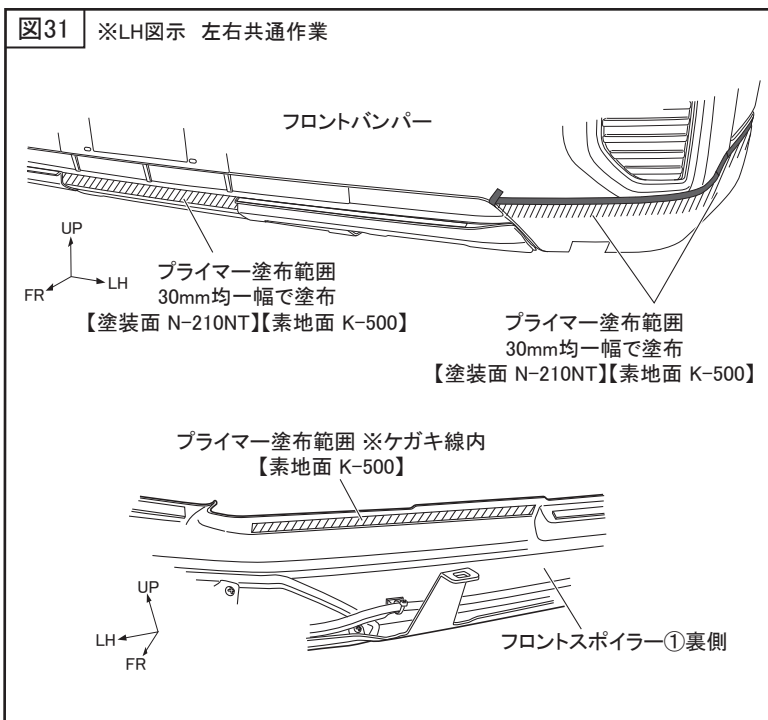


13. 図30 ■部の汚れを取除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂する。

⚠注意：脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りテープが剥がれる原因となります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。
※脱脂作業要領書を合わせて確認してください。

図31 ※LH図示 左右共通作業



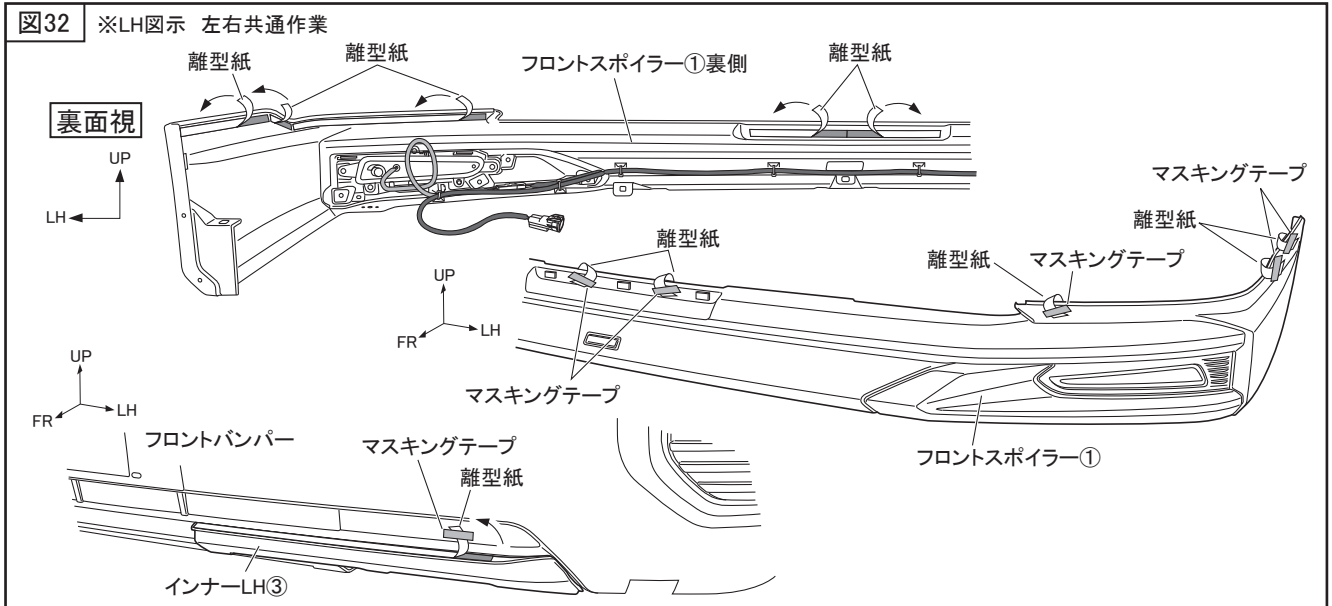
14. 図31 ▨部(両面テープ貼付け部)にPACプライマーN-210NT⑯又はPACプライマーK-500⑰を塗布する。

⚠注意：PACプライマーは必ず塗布部の仕様により使い分けてください。
塗装面：N-210NT 素地面：K-500

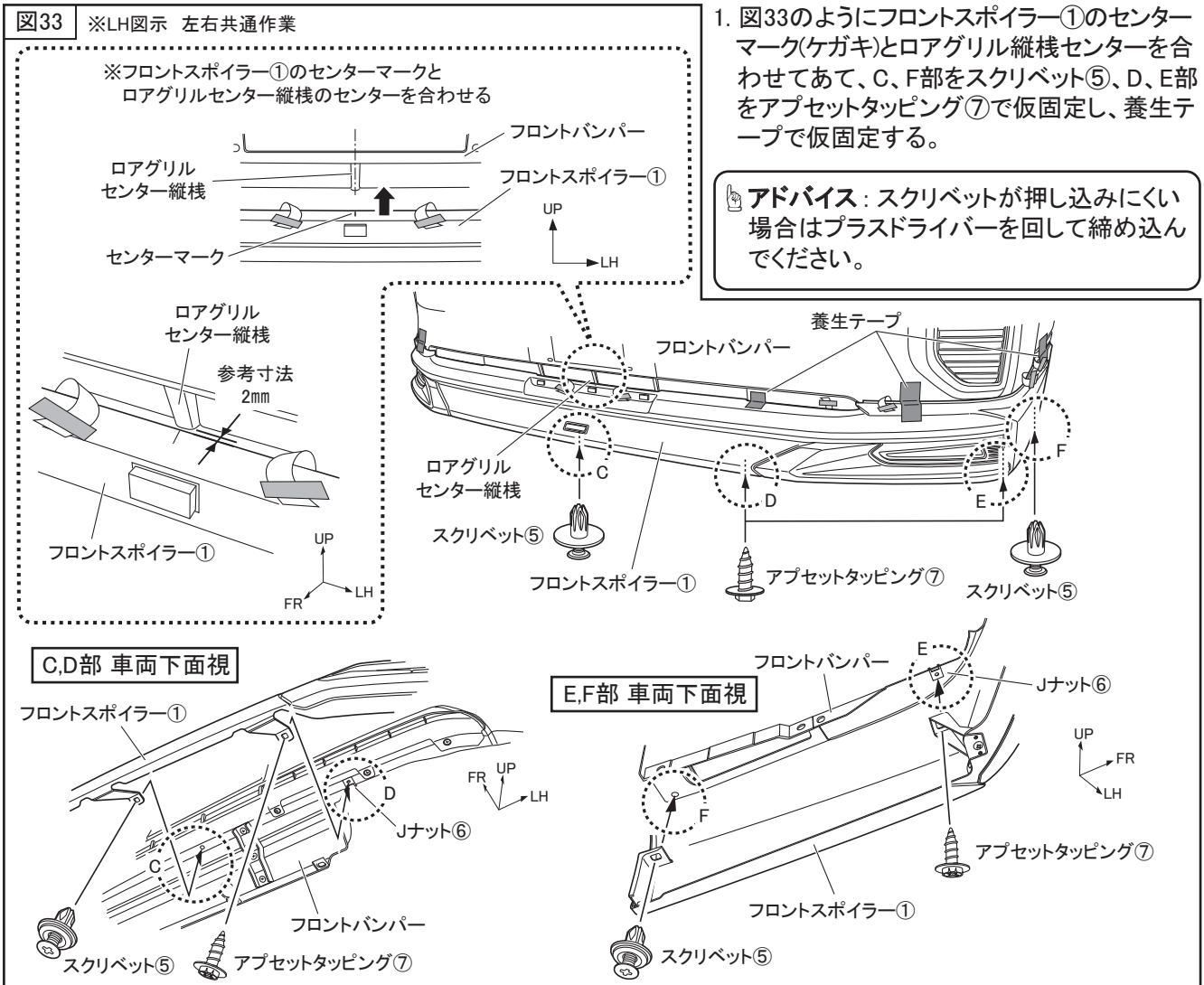
👉アドバイス：PACプライマー塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

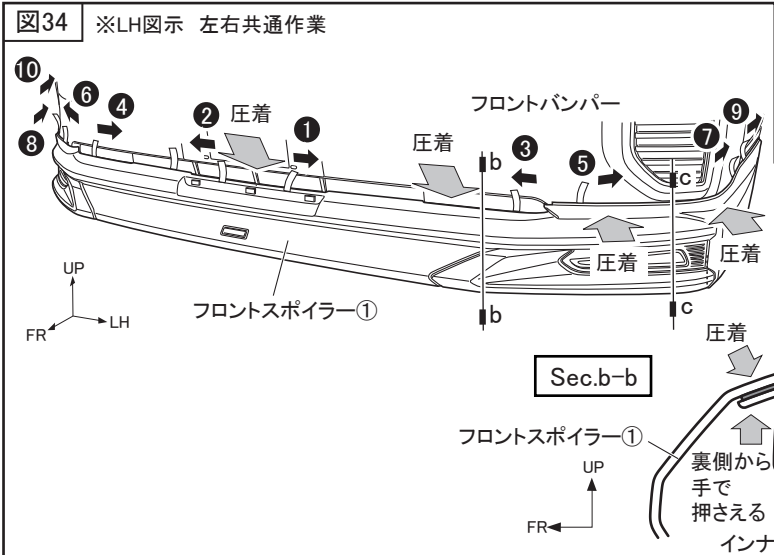
15. 塗布後マスキングテープを剥がしてください。

16. 図32のようにフロントスポイラー①裏側の両面テープ離型紙を矢印の方向に30mm程度剥がし、表面に折返してマスキングテープで貼付ける。(全8箇所)
17. 図32のようにフロントバンパーへ取付けたインナーLH③の両面テープ離型紙を矢印の方向に30mm程度剥がし、フロントバンパーへマスキングテープで貼付ける。(全1箇所)

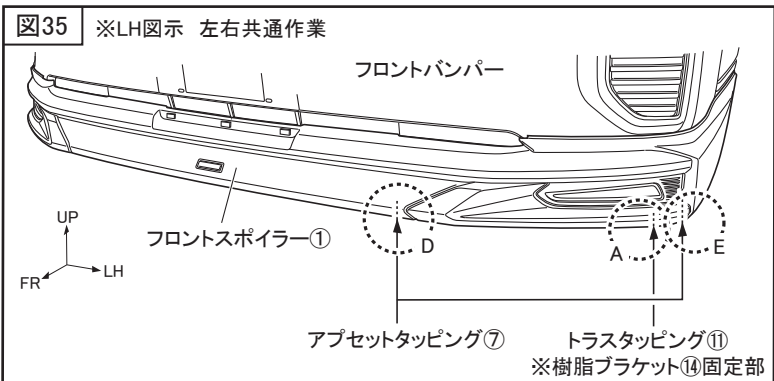
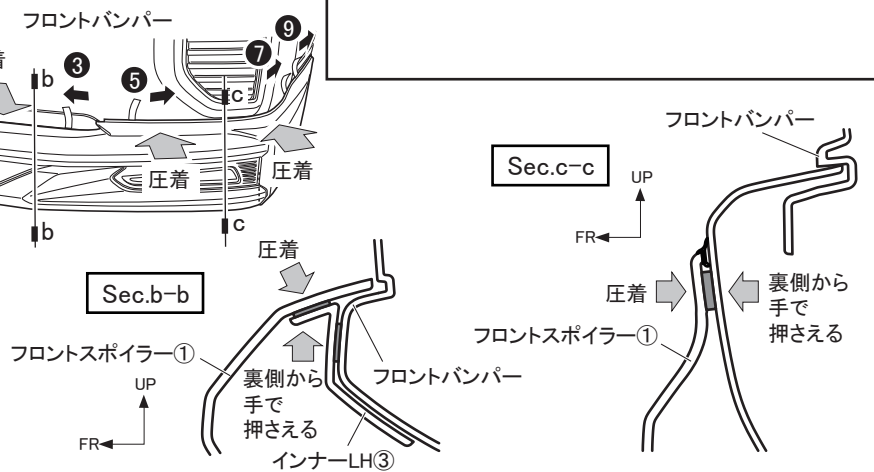


□ フロントスポイラーの取付け -1





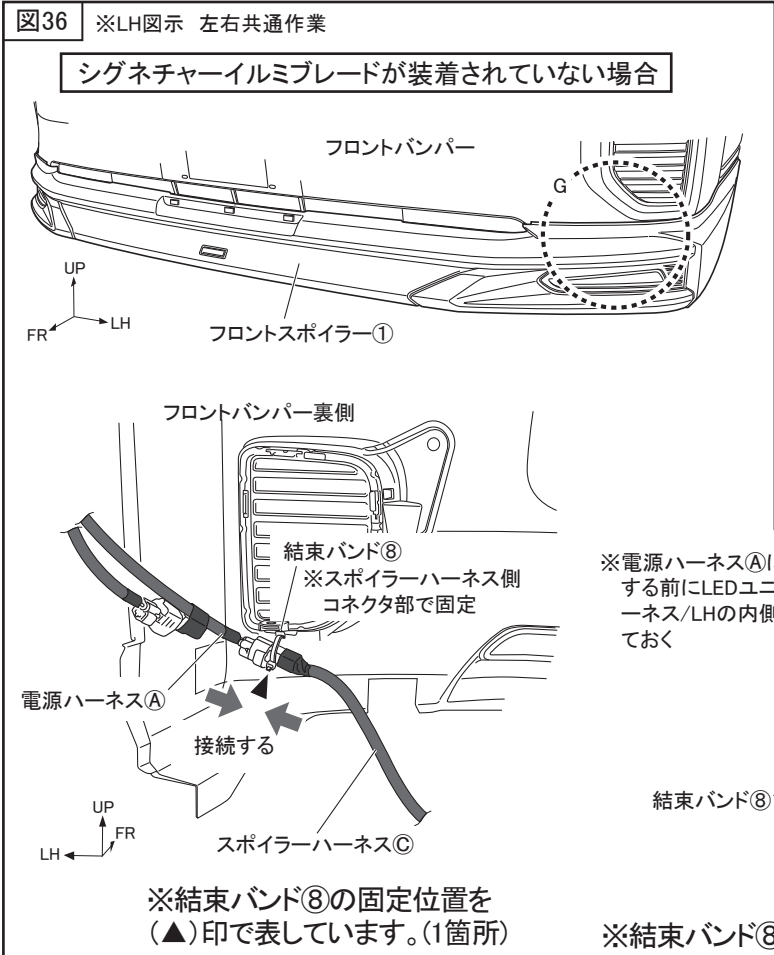
2. 図34のように両面テープ離型紙を①～⑩の順に矢印の方向へ剥がしながら圧着する。



3. 図35のようにフロントスポイラー①下面図示D、E部のアップセットタッピング⑦、A部のトラスタッピング⑪を本締めする。(3箇所)

重要

- 4. 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、再度圧着する。
- 5. 全ての養生テープを剥がす。
- 6. 全ての両面テープ接着面を全て再圧着する。



シグネチャーイルミブレードが装着されていない場合

- 7. 図36のようにスポイラーハーネス©をLEDユニットハーネス/LHの内側に通してから、車体側の電源ハーネスとスポイラーハーネス©を接続し、スポイラーハーネス側のコネクタ部を輪っかにしておいた結束バンド⑧で固定する。(1箇所)
- 8. 図36のようにフロントスポイラー①裏側のスポイラーハーネス©とLEDユニットハーネス/LHを束ねて結束バンド⑧で固定する。(1箇所)
- 9. 尿素タンクカバー、ナンバープレートを復元する。

⚠ **注意**：尿素タンクプロテクターを復元する際、ハーネスを挟み込まないように注意してください。

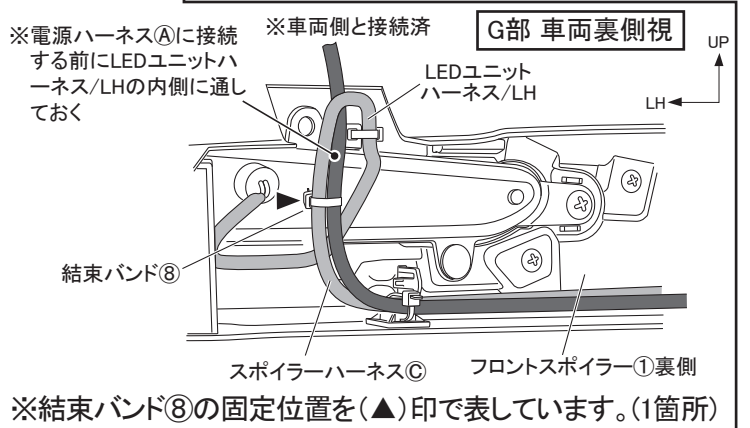
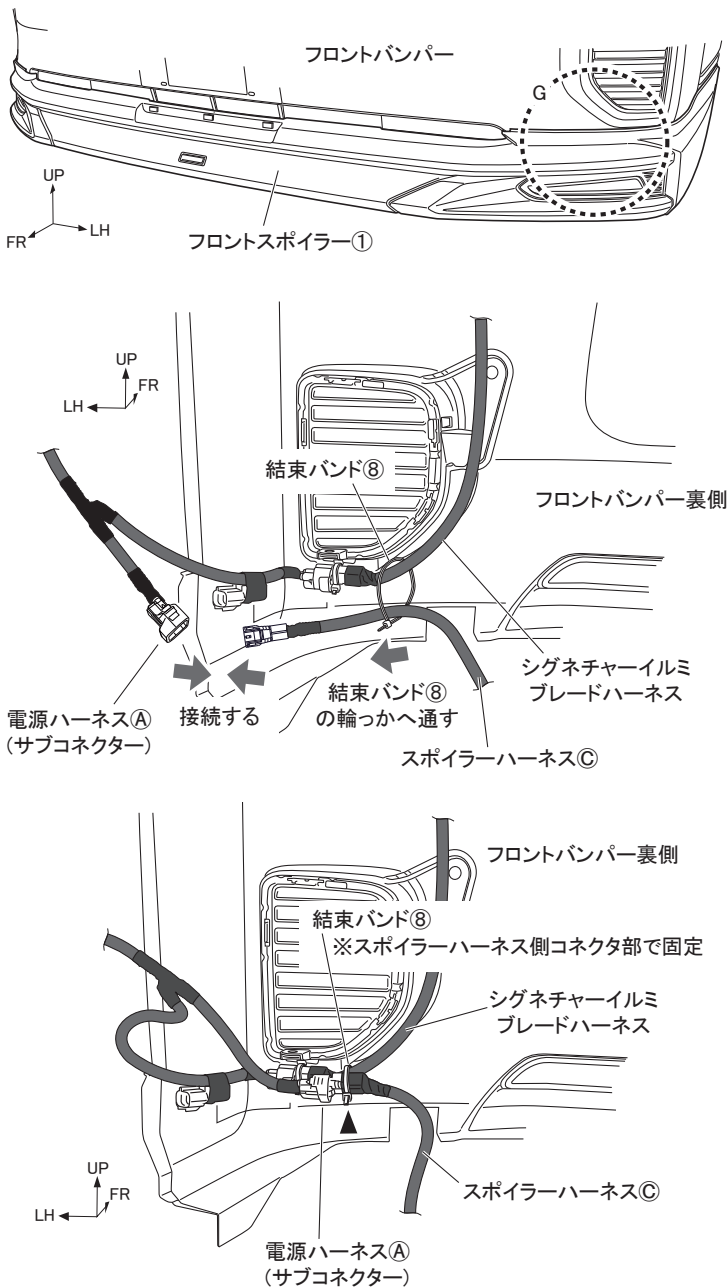
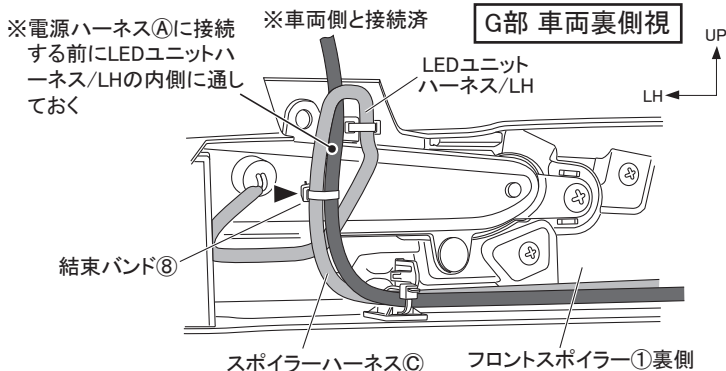


図37 ※LH図示 左右共通作業

シグネチャーイルミブレードが装着されている場合



※結束バンド⑧の固定位置を(▲)印で表しています。(1箇所)



※結束バンド⑧の固定位置を(▲)印で表しています。(1箇所)

シグネチャーイルミブレードが装着されている場合

7. 図37のようにスポイラーハーネス(C)をLEDユニットハーネス/LHの内側に通してから、電源ハーネスのサブコネクターとスポイラーハーネス(C)を結束バンド⑧の輪っかを通して接続する。(1箇所)
8. 図37のようにシグネチャーイルミブレードとスポイラーハーネス(C)側のコネクタ部を結束バンド⑧で固定する。(1箇所)
9. 図37のようにフロントスポイラー①裏側のスポイラーハーネス(C)とLEDユニットハーネス/LHを束ねて結束バンド⑧で固定する。(1箇所)
10. 尿素タンクプロテクター、ナンバープレートを復元する。

▲注意：尿素タンクプロテクターを復元する際、ハーネスを挟み込まないよう注意してください。

■ 取付け完了後の点検・注意事項

アドバイス:

- ・両面テープの接着力は安定するまで3~5時間程度必要です。
- ・商品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

警告:

- ・両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
- ・両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■ LED デイタイムランプ取付け後の確認・注意事項

1. ハーネスに無理な力が掛かっていないか、噛み込みや鋭利なエッジに干渉が無いことを確認する。
2. イグニッションONの状態にしてLEDデイタイムランプの点灯確認を行なう。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周にわたり、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びフロントスポイラー周りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

警告:

- ・分解・脱着した部位以外でも、周辺部品に触れて、ラジエータキャップのゆるみや周辺部品の変形などが発生することがあります。作業後は必ず確認を行なってください。

■ 未塗装品の取扱いについて

□ フロントスポイラーの塗装

下記は、未塗装品(MSD41-26014-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行なってください。

△ **注意**：本商品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。(本品の材質はPPです。)

1. 図38のようにフロントスポイラー①裏側の両面テープ、サイドカバー、マウントベース、アルミテープ及び、インナーとの接着面をマスキングし、車体色で塗装する。

△ **注意**：脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

両面テープは絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして対応してください。

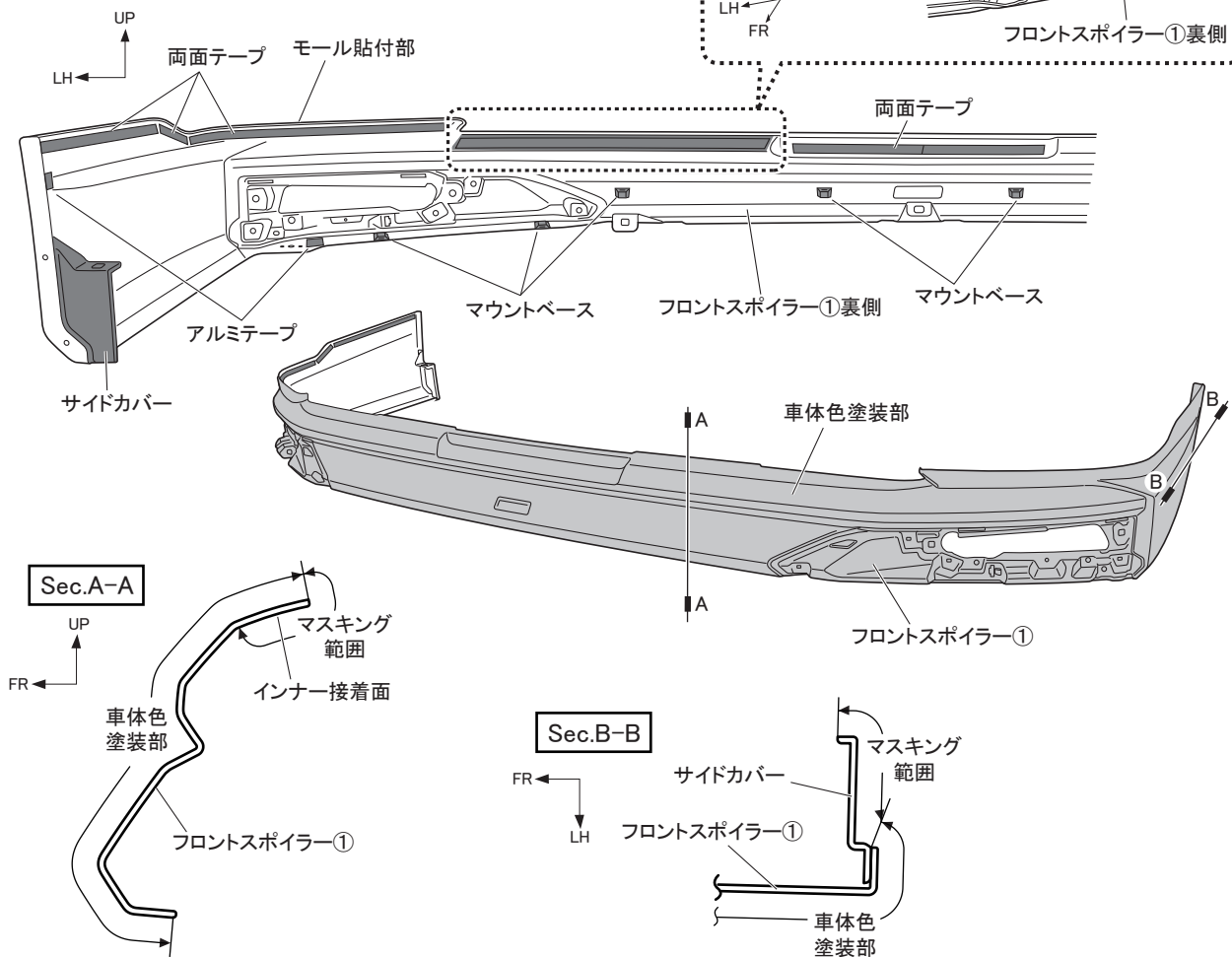
乾燥温度を70°C以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。
強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

図38 ※LH図示 左右共通作業

フロントスポイラー① マスキング詳細図

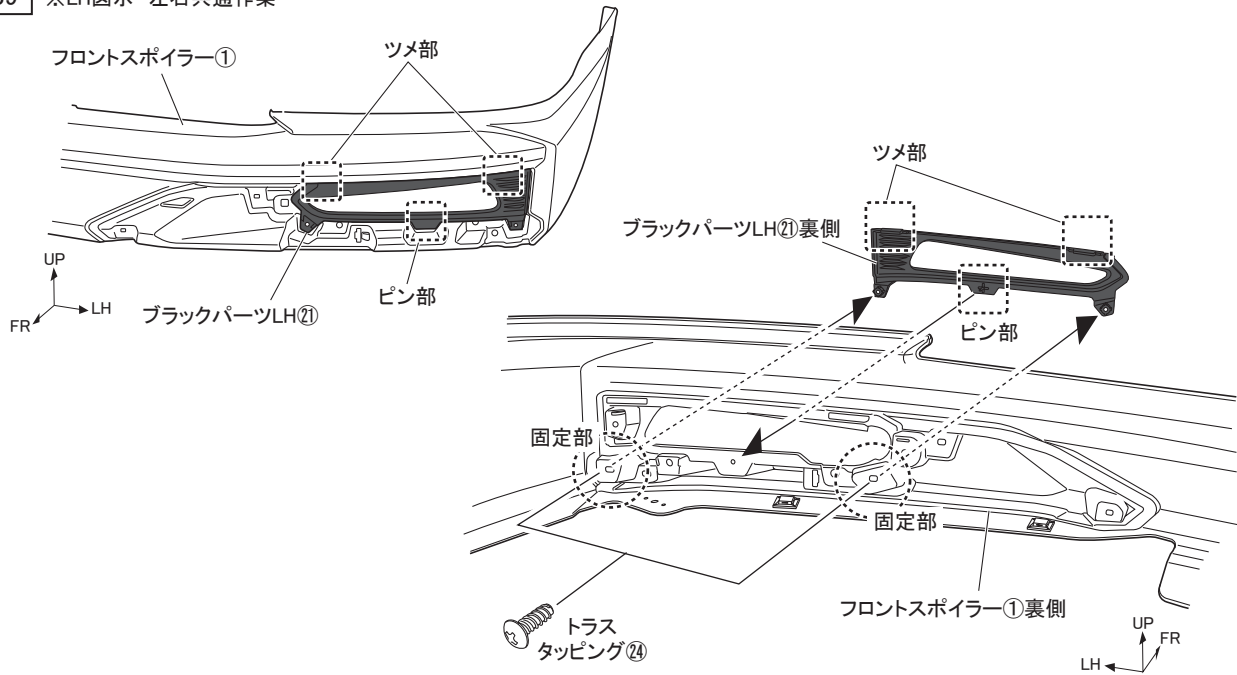
※両面テープ、モール貼付部、サイドカバー、マウントベース
アルミテープ及びインナーとの接着面をマスキングする



□ ブラックパーツの取付け

- 図39のようにフロントスポイラー①にブラックパーツLH⑳のピン及びツメを表側から差し込み取付ける。(3箇所)
- 図39のようにブラックパーツLH⑳をトラスタッピング㉔で裏側から固定する。(2箇所)

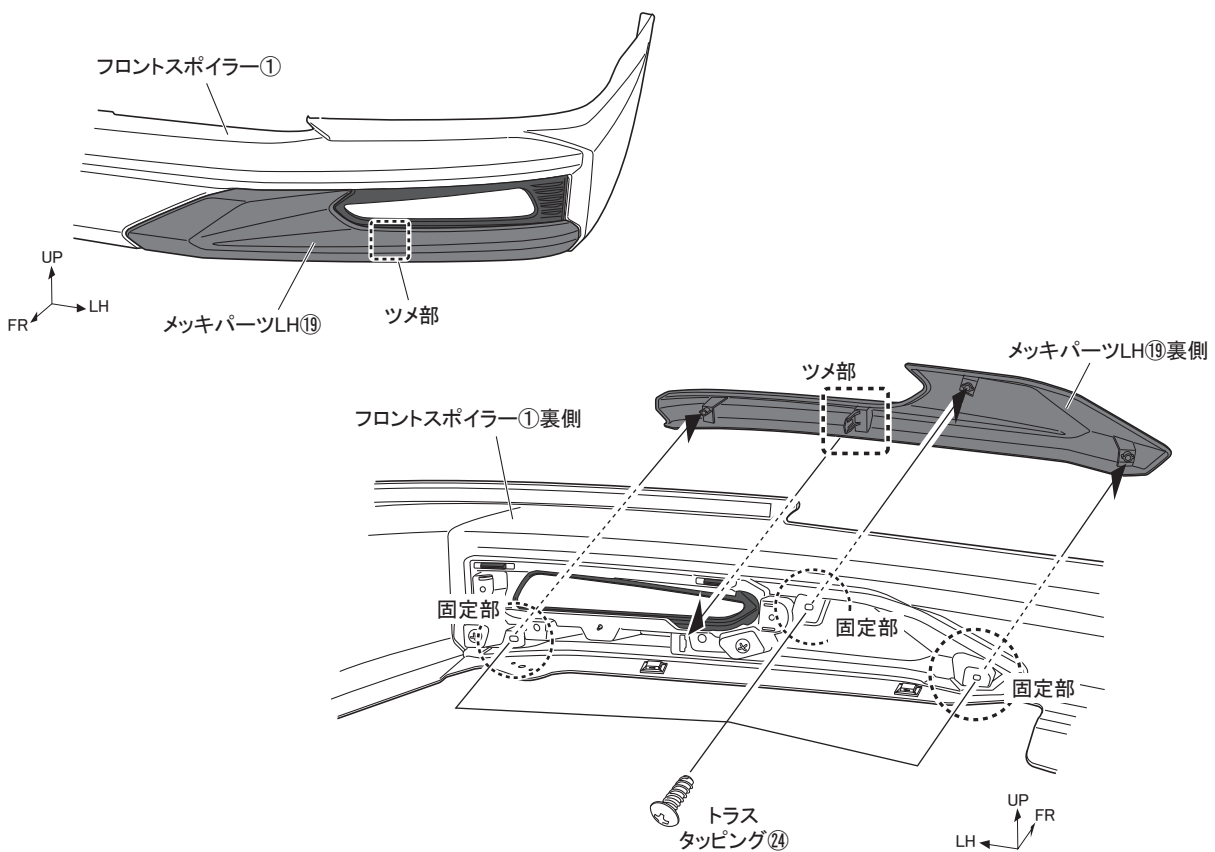
図39 ※LH図示 左右共通作業



□ メッキパーツの取付け

- 図40のようにフロントスポイラー①にメッキパーツLH㉑のツメを表側から差し込み取付ける。(1箇所)
- 図40のようにメッキパーツLH㉑をトラスタッピング㉔で裏側から固定する。(3箇所)

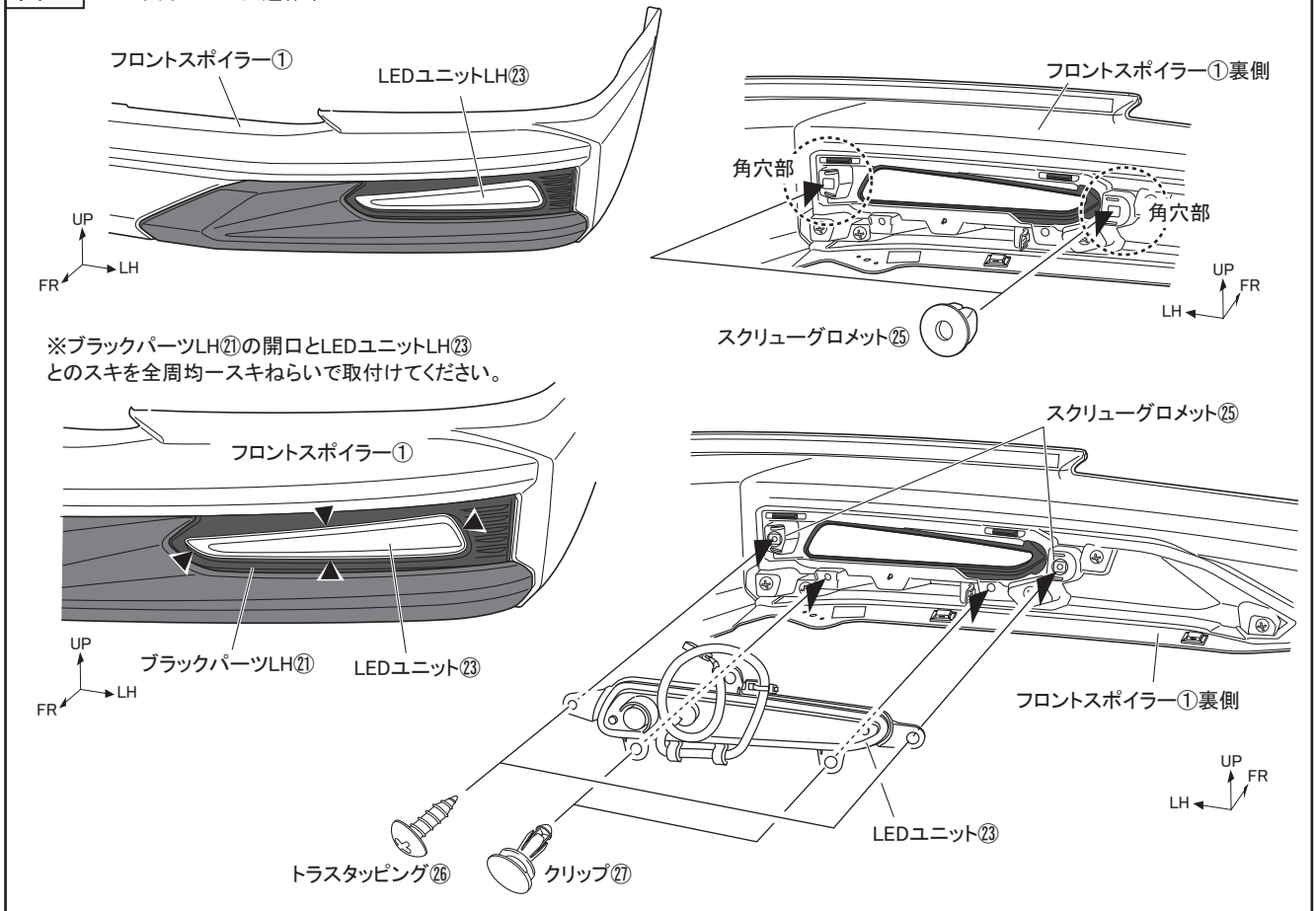
図40 ※LH図示 左右共通作業



□ LEDユニットの取付け

- 図41のようにフロントスポイラー①裏側角穴にスクリューグロメット②⑤を取付ける。(2箇所)
- 図41のようにフロントスポイラー①にLEDユニットLH②③を裏側から位置を合わせてあてがい、トラスタッピング②⑥とクリップ②⑦で固定する。(各2箇所)

図41 ※LH図示 左右共通作業



□ モールの取付け-1

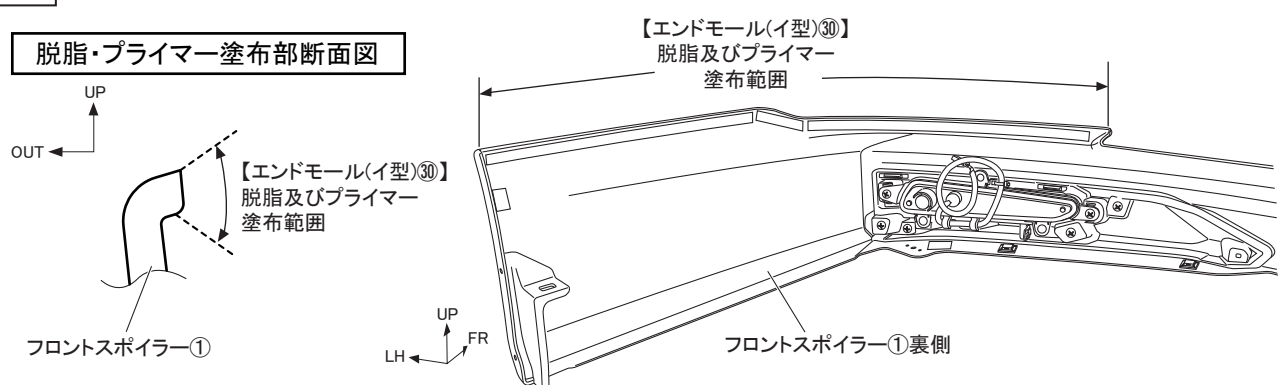
- 図42のようにフロントスポイラー①のエンドモール(イ型)③⑩貼付部を一方方向に拭いて脱脂し、パッキンプライマーK-500①⑦を塗布する。

アドバイス: 脱脂後は、十分に乾燥させてください。

PACプライマー塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させてください。

PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

図42 ※LH図示 左右共通作業

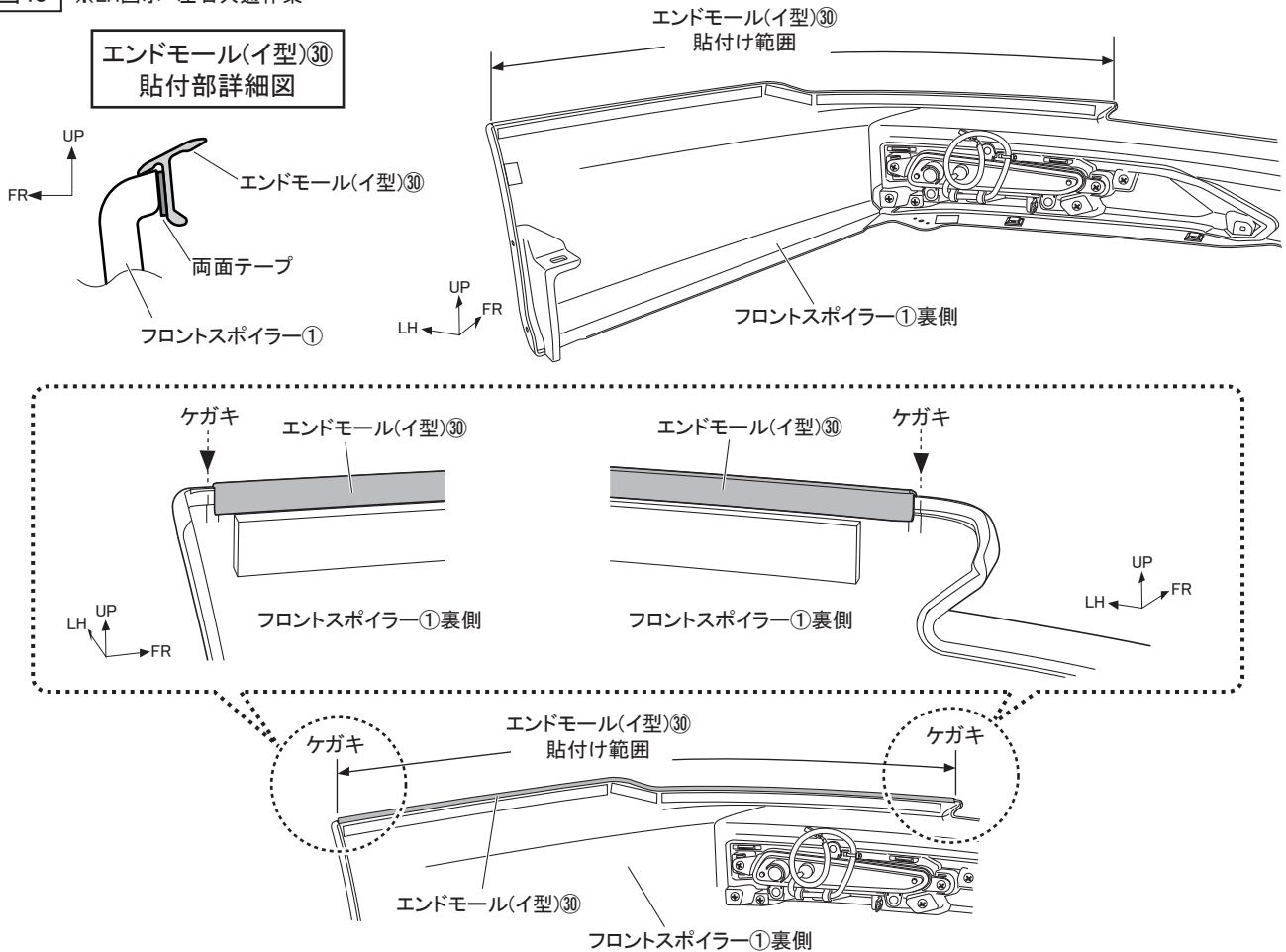


□ モールの取付け-2

9. 図43のようにフロントスポイラー①へエンドモール(イ型)③⑩を貼付ける。

アドバイス: エンドモール(イ型)③⑩は長めに設定されているので長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。
エンドモール(イ型)③⑩は、2色同梱されています。塗装色に合わせて選択し、貼付けてください。

図43 ※LH図示 左右共通作業



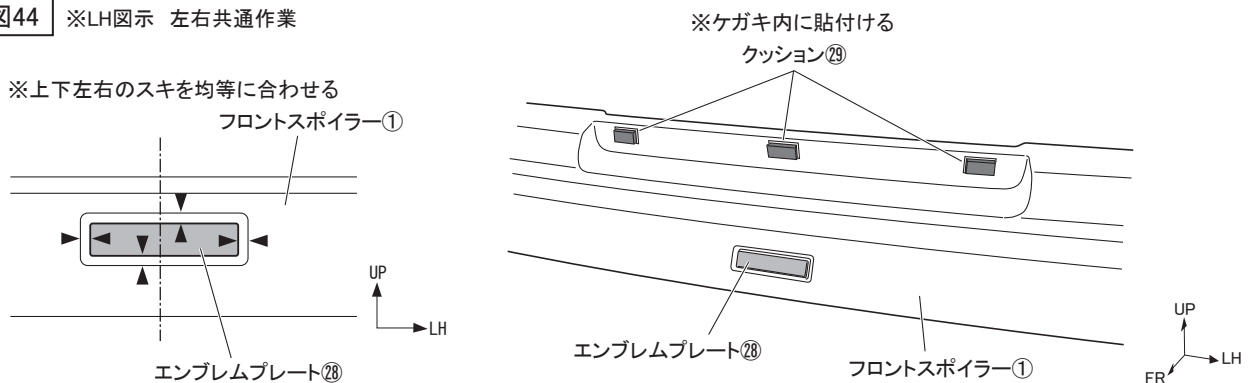
□ クッション、エンブレムプレートの取付け

10. 図44のようにフロントスポイラー①のクッション②⑨貼付部を一方方向に拭いて脱脂し、ケガキ内に貼付ける。(3箇所)

11. 図44のようにフロントスポイラー①のエンブレムプレート②⑨貼付部を一方方向に拭いて脱脂し、貼付ける。(1箇所)

アドバイス: 脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図44 ※LH図示 左右共通作業



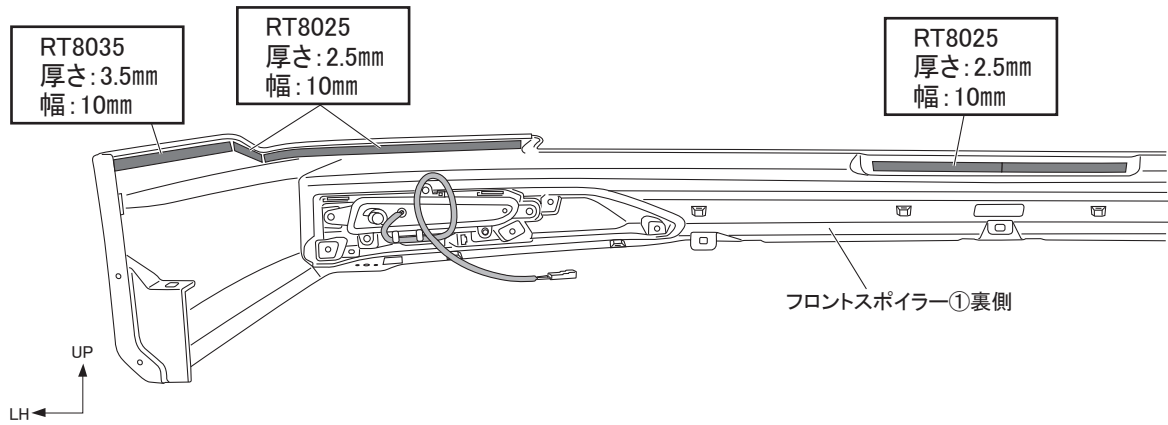
■ 参考

補修キット(品番:MSD80-26H23)を使用してフロントスポイラーの取付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し、貼付けてください。

※両面テープを貼付ける際は、貼付部を脱脂し、プライマー(PACプライマーK-500相当)を塗布してください。

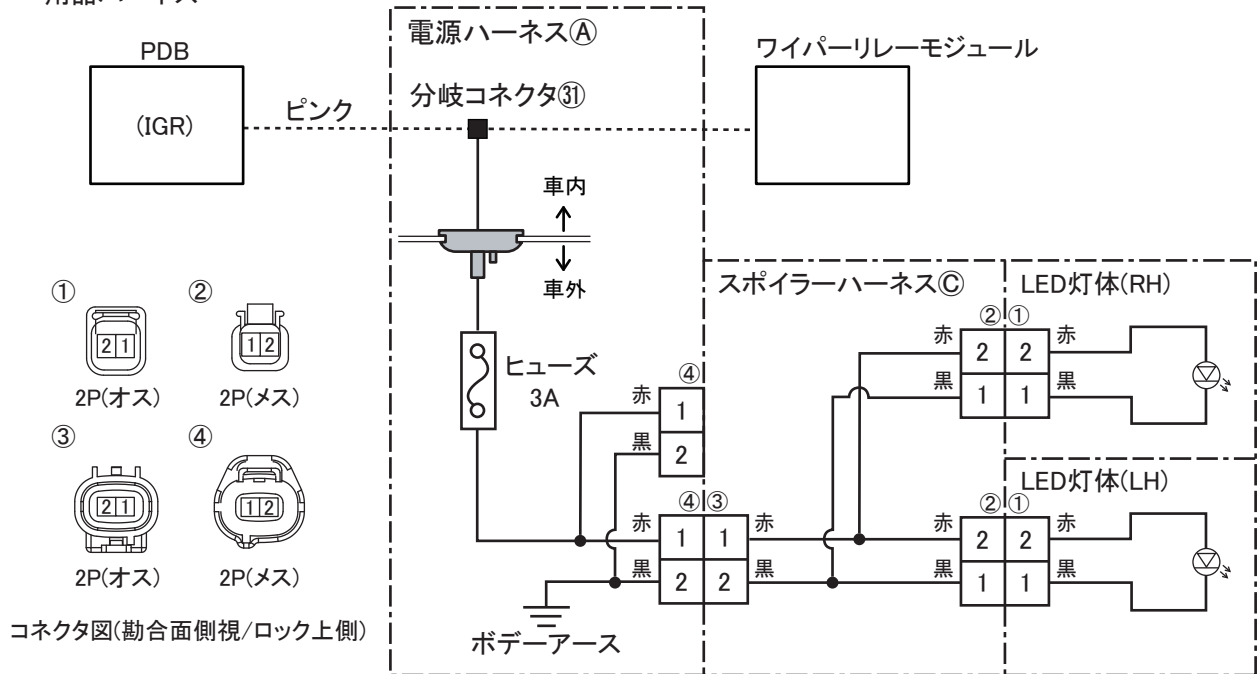
※両面テープ貼付け部にケガキがあるので、貼付け時の参考としてください。

図45 ※LH図示 左右共通作業



■ 配線図

車両ハーネス
用品ハーネス ——



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

MODELLISTA 商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

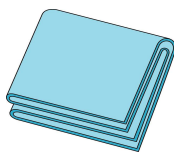


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



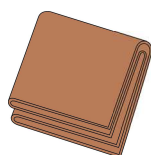
合成セーム皮



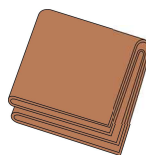
脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



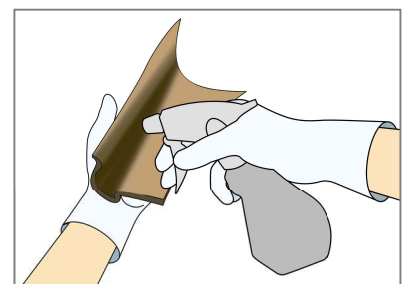
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

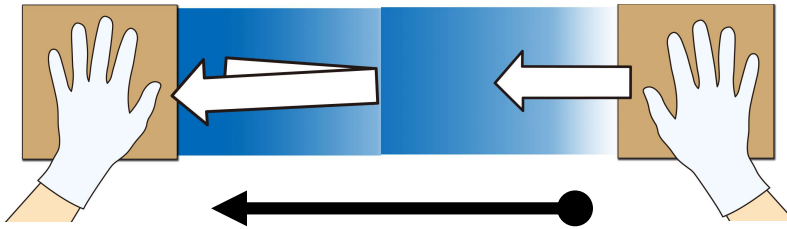
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

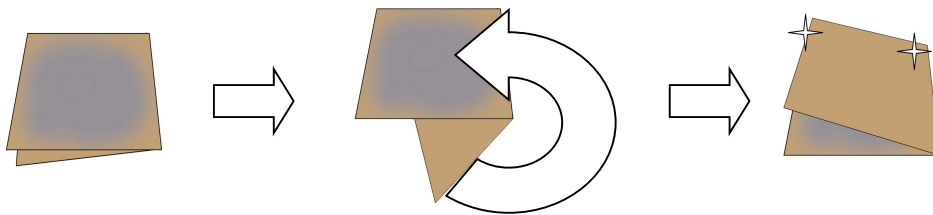
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。